

JDream Users Day 2022

2022年11月

株式会社ジー・サーチ

	内容	発表者
1	新しい取り組みへの挑戦をサポートするジー・サーチの受託サービス	株式会社ジー・サーチ
2	学術文献検索サービス「JDreamⅢ」を利用した分析と最新情報	株式会社ジー・サーチ
3	JSTシソーラスの改訂予定 →別資料での提供となります	国立研究開発法人 科学技術振興機構
4	JDreamサービスの最新情報ご紹介	株式会社ジー・サーチ
5	ジー・サーチからのお知らせ	付録

新しい取り組みへの挑戦をサポートする ジー・サーチの受託サービス

はじめに

最近感じる世界の変化

- **未来に対する漠然とした不安**

持続可能な社会
安全・安心な社会

- **価値感の多様化**

パーソナライズ化による利便性と偏向
中所得国の底上げに伴う新たな価値観の表出
社会の分断と対立

- **情報というものの変態**

情報爆発（デジタル化）
情報処理の超高度化
グローバルな情報格差の平準化



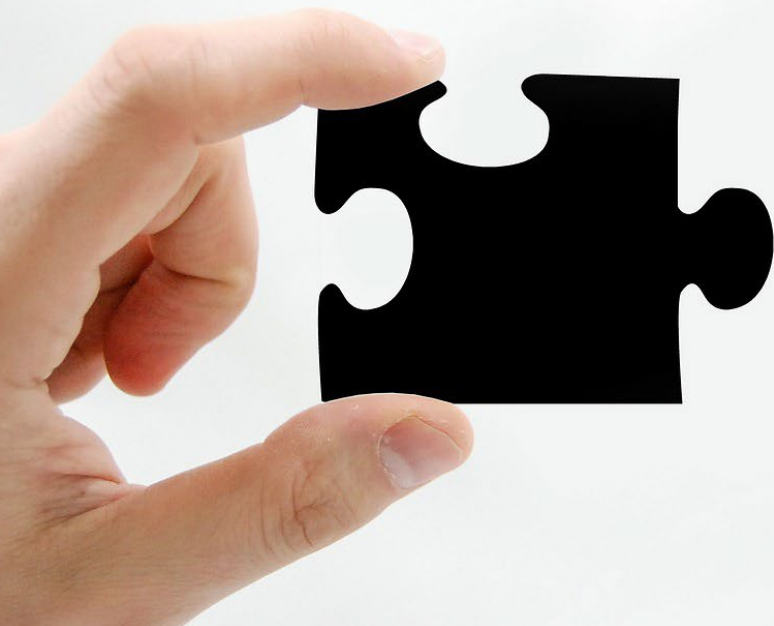


- データが汚い（整理されていない）
- データの量と種類が多過ぎる。
- 兼務のため、時間がとれない。
- 具体的なプロセスに落とし込めない。
- ステークホルダーへの説明が難しい。
- あらかじめ成果を読みづらい。
- やりたいことの共通認識ができない。

DXの 課題

ジー・サーチにできること

- 信頼できる公開情報（有償・無償コンテンツ）の収集と加工
- データ抽出（検索）から定量・定性分析など、調査分析プロセスの設計
- イントラ向けまたは会員向けシステムへのコンテンツ提供
- AI（自然言語処理）によるモデル開発、サービス実装、アノテーション



サービスの紹介

①受託調査分析サービス

お客様の目的に合わせて、研究開発活動における調査や分析を包括的に支援します。
テーマの検討から事業化後調査まで、データ（文献）に基づく
調査・分析について、ご提案・サポートいたします。



②コンテンツソリューションサービス

長年のジー・サーチのデータベースサービス提供で蓄積した知見をもとに、論文や新聞情報
などのコンテンツを活用したお客様のDXの取り組みを強力にサポートします。
コンテンツの手配からデータの加工、分析、共有化まで、
お客様の目的に応じてご提案いたします。



①受託調査分析サービス

テーマ例

テーマ	概要	支援プロセス例	サービス例
研究開発 テーマ策定 	研究テーマの検討に必要な要素を把握し、実現可能性・方向性検討の支援を行います。	1. 先行技術の全体像を把握 2. チーム単位の研究開発テーマ検討支援 3. 研究開発ロードマップの策定支援	国内・海外の特許・論文情報を幅広く調査し、概要マップを作成した後、分類軸を設定して人手やAIによるスクリーニングを行い、注目技術の抽出や技術マップ及びプレイヤーマップを作成します。
競合情報 分析 	競合情報を収集・分析する、CI (Competitive Intelligence) 業務を支援します。	1. 調査対象及び調査観点の検討 2. 特許出願（法的状況を含む）、プレスリリース等の公開情報調査・分析 3. 継続的なレポートニング	国内・海外の特許・論文データベース、インターネット情報源から、特定企業に関する情報を収集・整理する仕組みを作り、継続的にサービスします。
新規市場 開拓 	自社のコア技術を活かした新たな用途や市場開拓の探索、事業化に向けた実現可能性の検討を支援します。	1. 特許・論文情報などの調査・分析によるポジショニング確認 2. 用途や市場の候補探索 3. 事業化に向けた実現可能性の検討	国内・海外の特許・論文情報を幅広く調査し、概要マップを作成した後、分類軸を設定して人手やAIによるスクリーニングを行い、新規の用途や市場の候補を探索します。
技術動向 調査 	自社事業領域に関連する技術動向の定点観測やIPランドスケープの作成を支援します。	1. 調査対象及び調査観点の検討 2. データベース等から情報収集・分析 3. レポートニング	国内・海外の特許・論文データベースから、特定技術に関する情報を収集し、文献リストを作成します。遡及調査から、定期的なウォッチング調査まで対応可能です。
研究開発 パートナー 探索 	オープンイノベーションの推進に必要な研究開発パートナー探索を支援します。	1. 論文・文献情報から対象を把握 2. 相関マップ、人物関係を整理 3. 研究者や研究機関の絞り込み（一次スクリーニング、二次スクリーニング）	特定領域に特徴を持つ研究者や研究機関、共著関係から相関マップを作成し、適切な研究開発パートナー候補を探索、有力な対象を絞り込みます。

②コンテンツソリューションサービス

サービス例

サービス	サービス内容	特長
イントラ向け スタンダードSDI 	あらかじめ用意されている700以上のテーマから、関心がある技術分野を選んでいただき、該当テーマの論文情報（月2回更新）を、FTPサーバ（弊社用意）経由で提供します。お客様は、配信されたコンテンツをイントラに搭載し、社内でも共有できます。	- 国内・海外の最新技術情報が、直接ユーザに届きます。 - イントラ内での活用の幅が広がります。（例えば、お客様サーバで利用ログを分析すると、どの論文がよく読まれているか、どのユーザやグループがどの論文を読んだかを把握したり、URLを共有してディスカッションやリコメンドに用いることなどが可能です。）
JDreamⅢ API	イントラ向けに、JDreamⅢ APIを用いて国内海外論文情報の検索機能や出力機能を提供します。お客様は、サイト内に検索窓を用意し、組織内のユーザに文献検索サービスを提供することができます。	- お客様組織内で、必要な場所に検索窓を設置することができます。 - JDreamⅢの必要な機能だけを取り出し、自社のコンテンツや機能と組合せて活用することができます。（例えば、統合検索サービスを用意し、ユーザが入力した一つのキーワードに対して、複数のデータベースから検索結果を返すなど）
AIフィルタリング・ 分類モデル作成	BERT等、最新の自然言語処理技術を活用して、文脈をとらえた文章の解析により、技術文献のフィルタリングや分類付与を行うAIモデルの作成と検証を行います。検証の結果、実施可能と判断できる場合は、AIモデルを搭載したプログラムやUIの開発を行います。	- 実際のデータを用いて、最適なモデルの検証やチューニングを実施した後に、プログラムの開発や実装を行いますので、若干時間はかかりますが、安心してプロジェクトを進めることができます。 - 教師データの作成（人手によるスクリーニングとアノテーション）も行えます。
イントラ向け コンテンツ手配・ 配信	イントラでの外部コンテンツ活用にあたって大きな壁となる著作権や許諾関係、および運用面の課題解決について、長年のデータベースサービス提供で蓄積した知見をもとに実現可能性を踏まえたご提案を行います。ご利用環境を詳しくヒアリングさせていただき、コンテンツホルダーとの調整をお手伝いします。必要に応じて、コンテンツの加工や配信などの運用面でもお手伝いします。	- コンテンツホルダーとの調整を一本化することができます。 - コンテンツの目利き、権利の確認、配信の仕組みなどの課題に対して、トータルに実現可能性を考慮してプロジェクトを推進することができます。



STEP1 ヒアリング

プロジェクトの目的、短期及び中長期的なゴール、想定されるコンテンツやその種類、お客様環境、希望時期、ご予算などを伺います。
また、必要に応じて、秘密保持契約（NDA）を締結いたします。



STEP2 提案

ヒアリングをもとに、目的やゴールと実現可能性を考慮の上、**最適と考えられるプロセスをご提案**します。なお、ご提案は、検証フェーズと本番フェーズのように多段階となる場合もあります。



STEP3 見積・発注

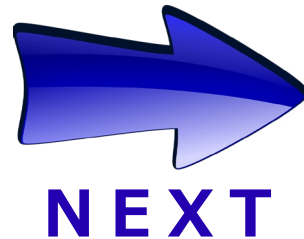
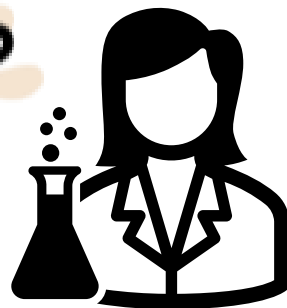
ご提案と修正を何度か繰り返し、提案内容とゴールとのギャップを確認の上、要件をアジャストします。要件（プロセス、仕様、体制、スケジュールなど）が確定した後に、お見積いたします。要件とお見積にご納得いただけましたら、ご契約に進みます。



STEP4 納品・運用

要件設定時に定めたスケジュールに沿ってプロセスを実施します。状況は、定例会などで逐次ご報告、都度納品します。また、運用がある場合には、継続してサービスを提供します。

**G X（グリーントランスフォーメーション）
領域で、自社技術が活かせる分野はどこ？**



受託調査分析事例紹介

G X（グリーントランスフォーメーション）において、自社技術が活かせる分野を探索したい。

■ 事例設定

- 化学メーカーA社は、脱炭素社会やサーキュラーエコノミーの実現に向けた自社のプレゼンスを拡大するため、自社技術を活かして短期間に事業化できる領域を探索している。
- 特に、カーボンニュートラルに着目し、**プラスチックリサイクル領域**をターゲットと考えている。
- 現時点では、具体的な仮説はなく、まず**網羅的かつ客観的に技術の全体像を俯瞰したい**。
また、俯瞰分析後に仮説設定を行うため、詳細な技術内容や適用分野の実現可能性も調査したい。

■ 課題

- 調査分析のプロセスをどのように設計すればよいか分からない。また、それらを検討・実践するための人的リソースが不足している。

テーマの背景 ～GXについて～

【参考】 諸外国におけるGXへの政府支援

- EUでは、10年間に**官民協調で約140兆円程度の投資実現**を目標にした支援策を決定し、一部の加盟国では、さらに数兆円規模の対策も決定。**米国では**、超党派でのインフラ投資法に加え、本年8月に10年間で**約50兆円程度**の国による対策（インフレ削減法）を決定。
→ **GX投資等によるGXに向けた取組の成否が、企業・国家の競争力に直結する時代**に突入

諸外国によるGX投資支援（例）

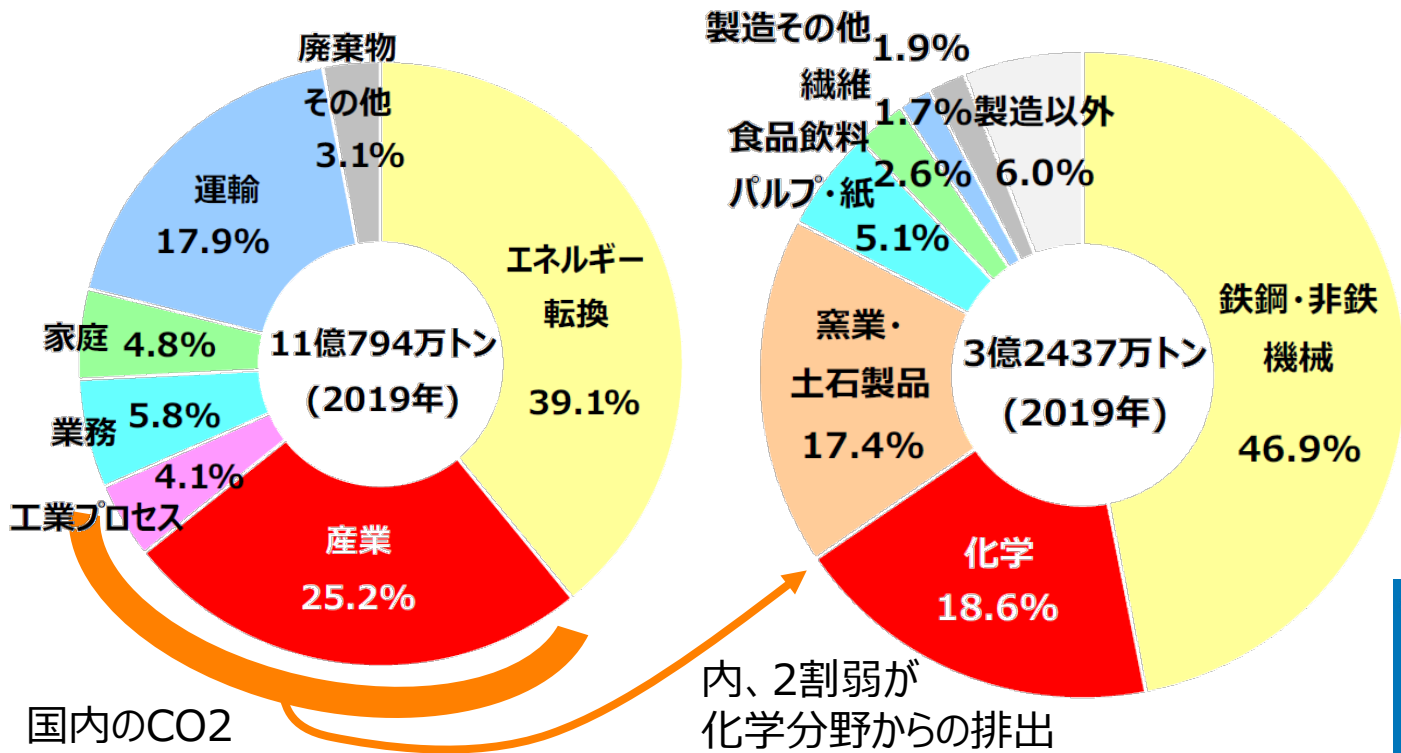
国	政府支援等	参考:削減目標	参考:GDP
米国 2022.8.16 法律成立	10年間で 約50兆円 (約3,690億\$)	2030年▲ 50-52% (2005年比)	約23.0兆\$
ドイツ 2020.6.3 経済対策公表	2年間を中心 約7兆円 (約500億€)	2030年▲ 55% (1990年比) ※EU全体の目標	約4.2兆\$
フランス 2020.9.3 経済対策公表	2年間で 約4兆円 (約300億€)	2030年▲ 55% (1990年比) ※EU全体の目標	約2.9兆\$
英国 2021.10.19 戦略公表	8年間で 約4兆円 (約260億£)	2030年▲ 68% (1990年比)	約3.2兆\$
EU 2020.1.14 投資計画公表	官民のGX投資額 10年間で 約140兆円 (約1兆€)	2030年▲ 55% (1990年比)	約17.9兆\$

(出所) 各国政府公表資料を
基に作成。

※換算レートは1\$=135円、
1€=136円等（基準外国
為替相場・裁定外国為替相
場（本年10月分適用））

- ・ グリーントランスフォーメーション（GX）とは、カーボンニュートラルや温室効果ガス排出削減に向けた取組を**経済成長の機会**と捉え、経済社会システム全体を変革しようとするものです。
- ・ GXの取組に対して、**各国政府が多額の投資を計画**しており、産業上の主導権争いも激化しています。

テーマの背景 ～プラスチックリサイクルについて～



- プラスチックリサイクルは、GXテーマの一つ。主な課題には、熱源転換、原料循環、原料転換がある。
- また、プラスチックごみへの対策は、SDGs目標の課題としても認識されている。

14

海の豊かさを
守ろう

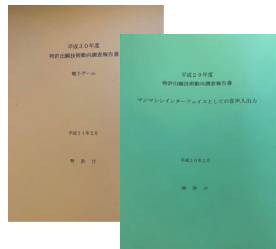


【出典】経済産業省 資源エネルギー庁、「カーボンニュートラルで環境にやさしいプラスチックを目指して（前編）」（2022年1月13日）

【要件】 プラスチックリサイクルに関する周辺技術を調査対象スコープとして設定し、自社技術と関連する要素技術の抽出を行った上、新規事業検討のための候補を探索する。

①事前調査

- ・ 自社コア技術およびプラスチックリサイクル関連技術の確認（技術文献データベースを用いた予備調査を含む）
- ・ 政府・企業レポート等の調査
- ・ 調査スコープの検討



JDream
Innovation Assist

【情報源】インターネット情報源、各種データベース、特許出願技術動向調査報告書、ヒアリングなど

②文献調査

- ・ 調査スコープの確定
- ・ 検索条件の設定（情報源、検索式、アウトプットの検討）
- ・ 文献検索、出力

Dream III

PatentSQUARE

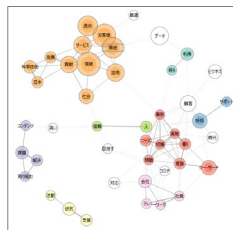
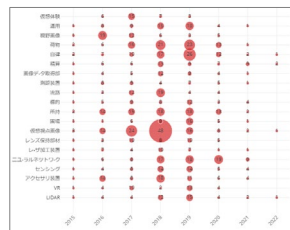
Dialog



【情報源】特許・論文データベース、インターネット情報源など

③分析

- ・ 基本的な定量分析
- ・ 定性分析（テキストマイニングによる共起ネットワーク分析）
- ・ 特定分析（急変、比較）
- ・ グループング、文献読み込み（深掘り分析）



分析イメージ

①事前調査 ～JDream Innovation Assist～

技術から分析する プレイヤー・競合から分析する 1機関から分析する 1研究者から分析する 自由に分析する

簡易検索 詳細検索 概念検索

プラスチック リサイクル

類似ワードを追加

すべてを含む

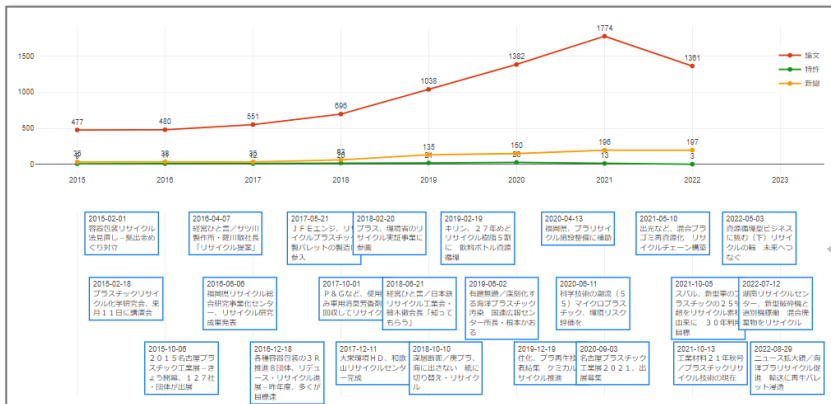
キーワードを入力

類似ワードを追加 削除

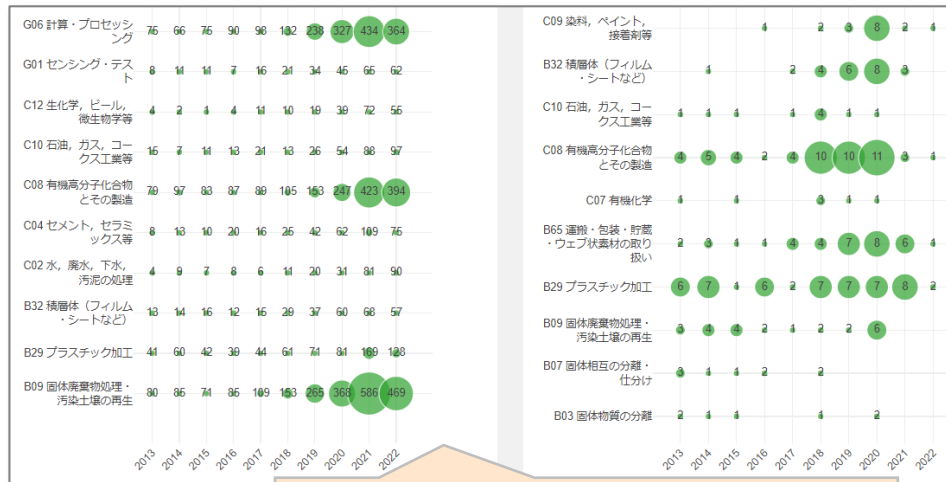
キーワードを追加 + 技術分類を追加 +

条件をクリア

保存条件を呼出 検索条件を保存 検索



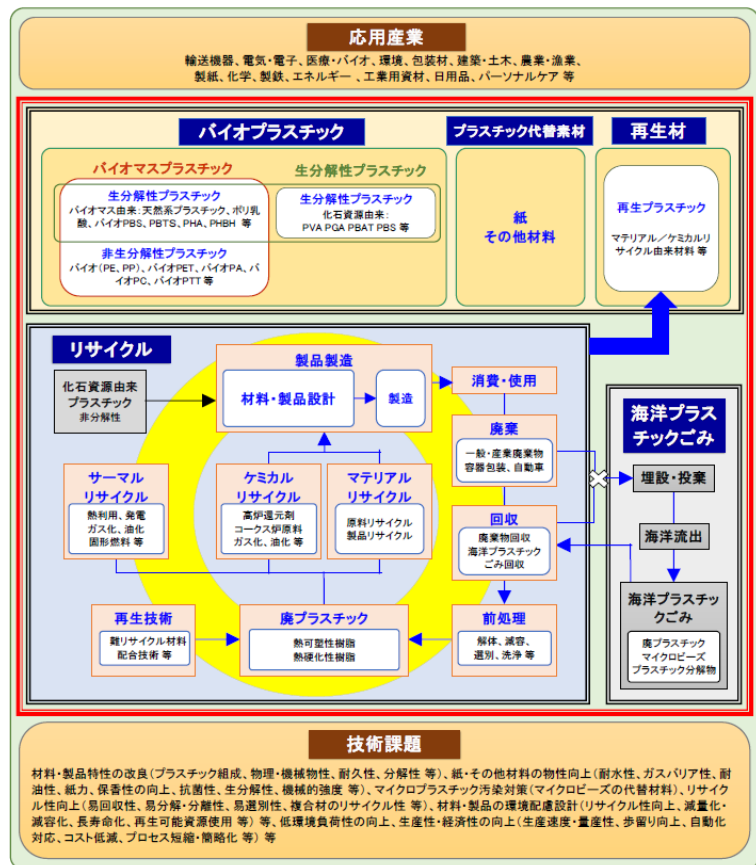
最近のニュースでは、複数の企業や団体によるリサイクル連携が多く見られる。



C08 (有機高分子化合物とその製造)
B09 (固体廃棄物処理・汚染土壌の再生)
G06 (計算・プロセッシング) など

簡単なキーワードから検索し、大まかな文献数、主な技術分野やプレイヤー、最近トピックスを掴み、あたりをつけます。

①事前調査 ～一般情報調査～



• プラスチックリサイクルには、「マテリアルリサイクル」、「ケミカルリサイクル」、「サーマルリサイクル」という大きく3つの種類があり、それぞれ課題がある。

• リサイクルのプロセスは、「消費・使用」→「廃棄」→「回収」→「前処理（洗浄・破砕・分離）」→「製造・再利用」の順で、それぞれ技術がある。

• 関連する技術として、「バイオマスプラスチック」、「生分解性プラスチック」、その他の「プラスチック代替素材」によるプラスチックの製造などがある。

調査スコープと検索条件の検討へ



②文献調査（調査スコープ）

文献調査の範囲を設定

【対象技術】

- ・ プラスチックリサイクルの各プロセス（回収→前処理→製造・再利用）における技術を主な対象とする。また、デジタルデータ処理に関する技術は対象外とする。

【対象期間】 最近20年間

【対象地域】 国内および海外の技術

【対象文献】 特許および論文情報

【調査目的】 プラスチックリサイクルに関する技術を俯瞰し、自社技術との組み合わせで新規事業を展開できる候補領域を探索する。

②文献調査（国内特許）

検索データベース：PatentSQUARE 国内特許（2022.10.25更新）

式No.	登録件数	検索項目	条 件 式
S001	6,744	IPC	B29B17/02+B29B17/04+C10G1/10
S002	12,992	IPC	B29B17/?+C08J11/?
S003	12,105	文章系組合せ	[?体積?,?容積?*?減?]A3//[?@発明の名称+要約+請求の範囲]
S004	660,483	文章系組合せ	?減容?+?溶解?+?ペレット?+?フレーク?+?分解?+?解体?+?高炉?+?コークス?//[?@発明の名称+要約+請求の範囲]
S005	5,922	論理式	S002*(S003+S004)
S006	336,243	IPC	B29B7/?+B29B9/?+B29B11/00+B29C?+B29D?
S007	8,749	文章系組合せ	[?廃?*?プラスチック?,?樹脂?]A10//[?@発明の名称+要約+請求の範囲]
S008	10,148	文章系組合せ	[?リサイクル?,?再利用?,?再生?*?樹脂?,?ペレット?,?フレーク?,?プラスチック?,?マテリアル?,?材料?,?ポリマ?,?高分子?]A5//[?@発明の名称+要約+請求の範囲]
S009	2,086	論理式	S006*(S007+S008)
S010	19,539	IPC	C21B?
S011	8,749	文章系組合せ	[?廃?*?プラスチック?,?樹脂?]A10//[?@発明の名称+要約+請求の範囲]
S012	4,161	文章系組合せ	[?吹?,?還元?*?プラスチック?,?樹脂?]A10//[?@発明の名称+要約+請求の範囲]
S013	197	論理式	S010*(S011+S012)
S014	19,813	IPC	C10B57/?+C10J?+C10L5/?+C04B7/?

②文献調査（国内特許）

式No.	登録件数	検索項目	条 件 式
S015	1,748,513	文章系組合せ	?プラスチック?+?レジン?+?樹脂?+?高分子?//[@発明の名称+要約+請求の範囲]
S016	1,613	論理式	S014*S015
S017	1,915	IPC	C08J11/12+C08J11/14
S018	46,992	文章系組合せ	?ガス化?+?油化?+?液化?//[@発明の名称+要約+請求の範囲]
S019	532	論理式	S017*S018
S020	9,225	論理式	S005+S009+S013+S016+S019
S021	6,386,112	出願日	20021101:20221231
S022	3,845	論理式	S020*S021

※今回の検索式は、特許庁が公開している「グリーン・トランスフォーメーション技術区分表（特許検索式含むエクセル版）」を参考にしました。

※調査目的からは、海外特許の調査を加えた方が良いと思われますが、今回は国内特許のみを対象としました。

②文献調査（国内・海外の技術文献）

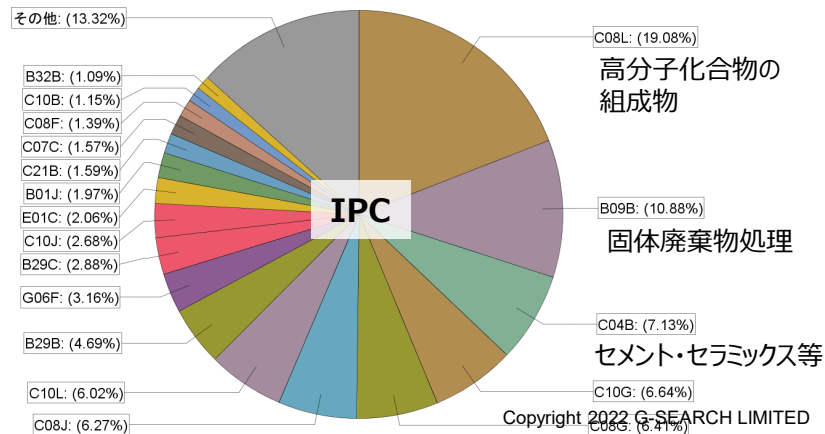
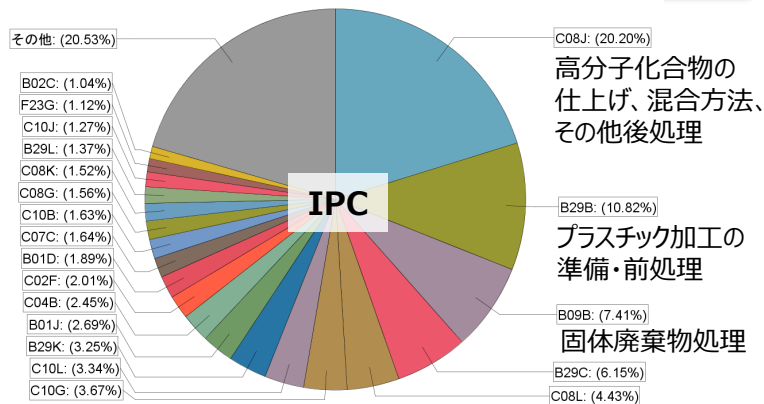
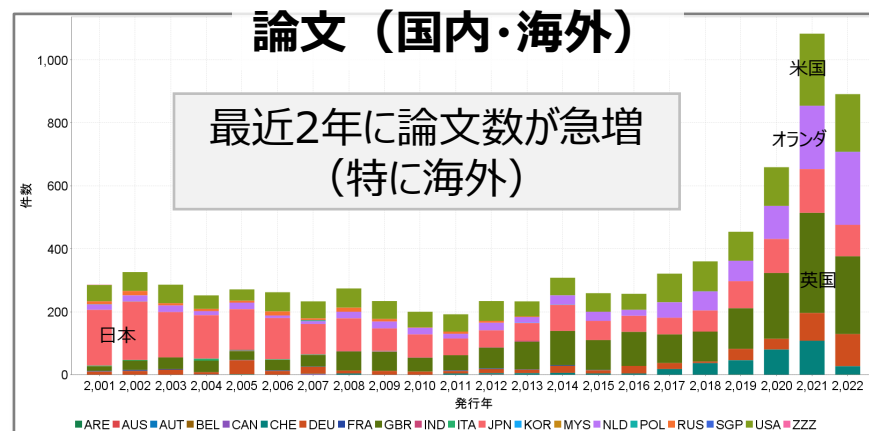
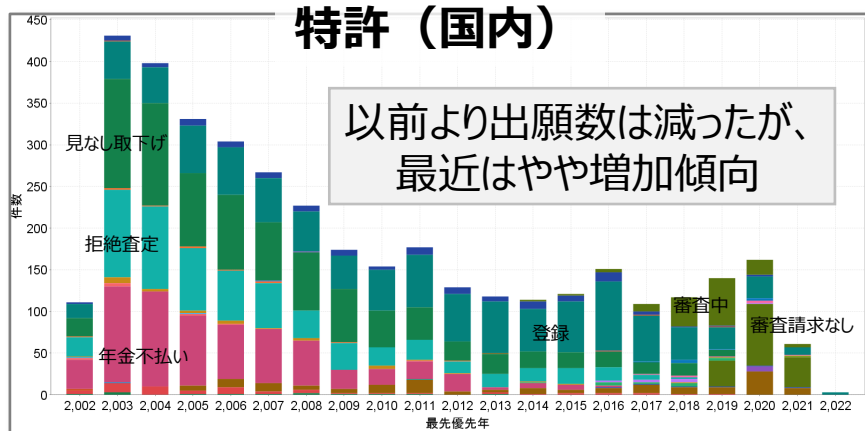
検索データベース：JSTPlus（2022.10.25更新）

L番号	検索式	件数	備考
L1	B29B17/IPC	870	B29B17（プラスチック含有廃棄物からのプラスチックまたはその他の成分の回収）
L2	"プラスチックリサイクル"/STS	592	準シソーラス
L3	(プラスチック 樹脂 レジン 高分子 ポリマー(5A) リサイクル 再生 ごみ 廃棄 使用済み)/AL	38,622	フリーワード
L4	"プラごみ"/AL + "プラスチック屑"/AL + "廃プラ"/AL + "再生プラ"/AL + "plastic recycling"/ALE + "plastic waste"/ALE + "plastics waste"/ALE + "polymer waste"/ALE + "waste plastic"/ALE + "waste polymer"/ALE	12,555	フリーワード
L5	(B29?+C08?+C10?+C04B?+C21B?)/IPC	1,071,858	B29（プラスチックの加工；可塑状態の物質の加工一般） C08（有機高分子化合物；その製造または化学的加工；それに基づく組成物） C10（石油，ガスまたはコークス工業；一酸化炭素を含有する工業ガス；燃料；潤滑剤；でい炭） C04B（石灰；マグネシア；スラグ；セメント；その組成物） C21B（鉄または鋼の製造）
L6	L1+L2+((L3+L4)*L5)	10,956	
L7	L6 * (PY>=2001)	7,970	最近20年間（出版年2001年以降）
L8	L7 AND (AB/FA)	7,875	抄録付き文献

分析へ



③分析 ～基本的な定量分析の例～

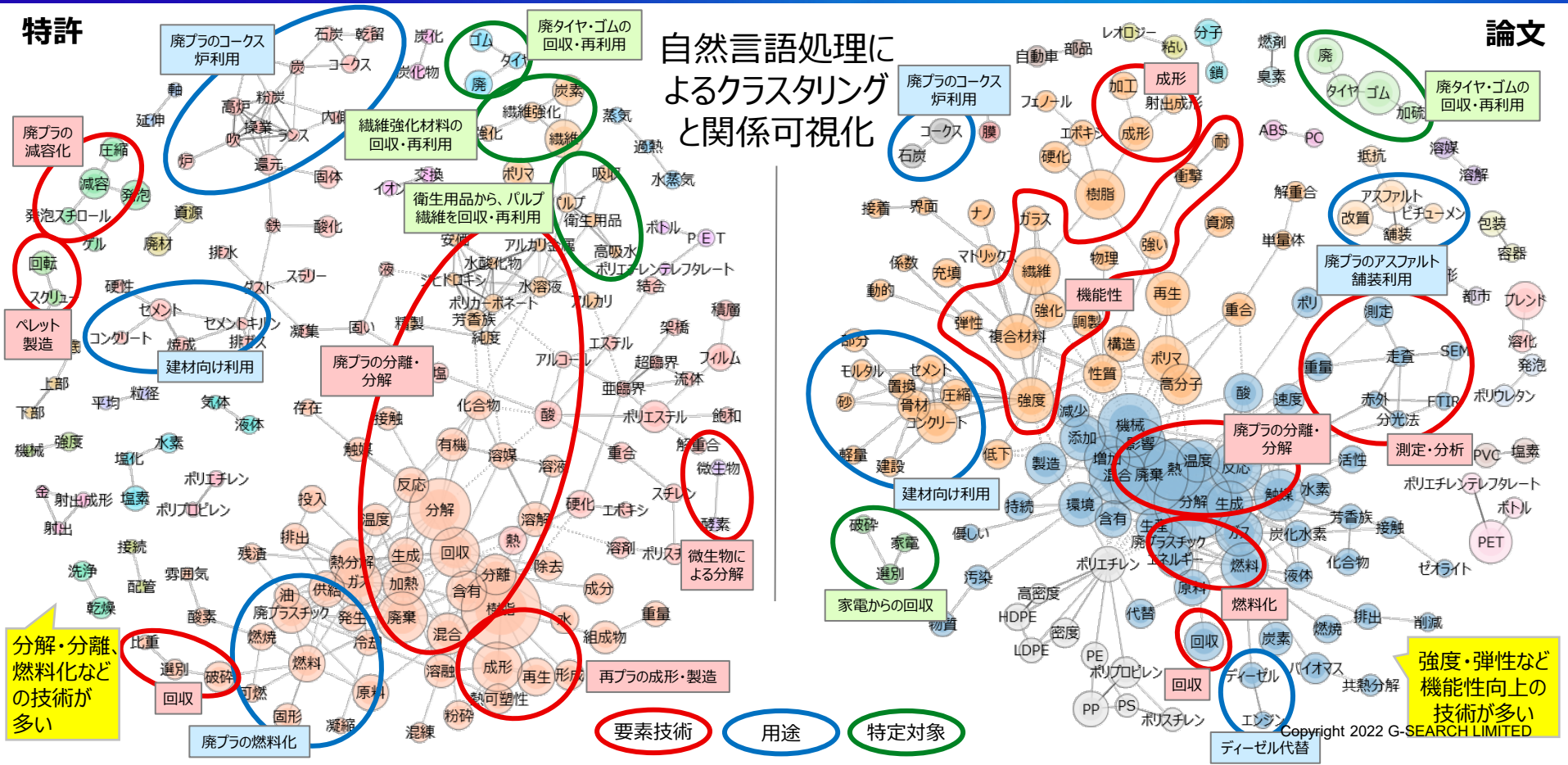


③分析 ～共起ネットワーク分析の例～

論文

自然言語処理によるクラスタリングと関係可視化

特許



分析結果から

- 分解・分離や燃料化に関する技術は国内に蓄積があり、プレイヤーも多いと思われる。
- 再プラスチックの高機能化（強度、弾性、耐衝撃性など）の研究開発が海外を中心に進んでいる可能性がある。

■目指すべき研究開発、技術開発の方向性

【提言・示唆1】＜バイオプラスチック・紙・その他材料＞

○環境意識の高まりを受け、今後もバイオプラスチック、紙等のプラスチック代替素材の市場は拡大し、化学企業、製紙企業等による市場競争が加速することが予想される。日本は、強みである成形技術や加工技術、着色・外観等の特性改良技術、包装技術を活かし、バイオマスプラスチックや生分解性プラスチックの素材について、用途に適した高機能化（成形性、加工性、着色・外観等）を迅速に進め、市場に投入することが望まれる。また、生分解性プラスチックについては、「生分解する」という機能性を活かすための用途開発、用途に適し、環境に配慮した「生分解性」の付与、生分解が求められる場面等への適切な利用の促進も必要である。

○紙素材については耐水性・耐油性等の機能性が向上した新規紙素材の開発・高機能化に加え、開発した新規紙素材のリサイクル性を向上するための技術開発が望まれる。また、日本の強みを活かして新規紙素材の包装性や加工性等の機能性を向上するとともに、新規紙素材の包装加工技術の開発も望まれる。

【出典】特許庁,「令和2年度特許出願技術動向調査－プラスチック資源循環－」（2021年2月）

③分析 ～急変分析の例～

論文

シソーラス+準シソーラス	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	total	最近3年比
バイオポリマーと再生可能ポリマー					16	57	46	119	100.0%
触媒熱分解					2	17	11	30	100.0%
円形経済				2	10	47	37	96	97.9%
価格決定				1	5	8	16	30	96.7%
プラスチックリサイクル		2	1		2	25	17	47	93.6%
多重化			2	4	13	22	12	53	88.7%
生態系			1	2	6	12	13	35	88.6%
リサイクル	1			5	28	79	60	191	87.4%
circular economy			2	4	5	24	11	46	87.0%
Chemical recycling		2	2	1	6	11	16	38	86.8%
生産者		1	2	1	8	20	10	44	86.4%
持続可能性	2	3	5	6	22	54	57	157	84.7%
高分子マトリックス		1		5	12	11	12	42	83.3%
Circular economy	1		7	4	13	22	24	71	83.1%
海洋	1		3	8	12	30	17	71	83.1%
都市			1	6	11	13	13	45	82.2%
recycling	4	1	1	12	23	35	22	98	81.6%
道路			4	4	9	19	15	53	81.1%
plastic waste		1	2	5	5	20	8	41	80.5%
共有結合	1	3	1	2	6	14	17	46	80.4%
熱化学		2	3	1	3	13	8	30	80.0%
pyrolysis		3	1	3	10	10	7	34	79.4%
ヒト	1	3	2		5	15	14	43	79.1%
電力	1	2	1	1	7	11	8	33	78.8%
ロバスト性		3	2	5	8	17	12	47	78.7%
煉瓦	1	1	1	5	11	19	10	51	78.4%
Catalytic pyrolysis	1	2	1	3	2	13	10	32	78.1%
食品		1	1	4	7	14	11	41	78.0%
三次元印刷		2	5	3	9	15	15	50	78.0%
Polyethylene	2	3	4	1	7	14	14	45	77.8%
循環経済	1		12	10	15	32	32	102	77.5%
ソーティング		1	3	3	2	13	9	31	77.4%
酵素		3		2	3	10	11	31	77.4%
湿潤	1			3	6	12	9	35	77.1%
バイオオイル	2	1	4	5	12	20	18	65	76.9%
高分子材料			5	3	10	20	16	60	76.7%
印刷			4	2	6	8	9	30	76.7%
インフラストラクチャー			3	4	10	11	8	38	76.3%
Waste plastic		3	3	6	4	14	20	50	76.0%

最近3年に、「触媒熱分解」、「高分子マトリックス」、「共有結合」、「ロバスト性」、「三次元印刷」、「バイオオイル」等が増加

シソーラス+準シソーラス	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	total	最近3年比
多重化			2	4	13	22	12	53	88.7%
持続可能性	2	3	5	6	22	54	57	157	84.7%
ロバスト性		3	2	5	8	17	12	47	78.7%
レオロジー特性	2	1	3	1	10	17	13	53	75.5%
塑性		6	6	6	8	21	12	61	67.2%
疎水性	1	3	4	8	5	22	15	64	65.6%
延性	5	2	6	12	12	24	35	109	65.1%
微生物分解性	2	12	11	15	26	46	43	183	62.8%
芳香族化		1	1	4	2	10	7	31	61.3%
弾性	2	4	5	2	14	13	14	68	60.3%
官能化	3	12	7	3	4	27	21	87	59.8%
生分解性	1	12	6		5	14	12	53	58.5%
熱塑性		7	8	13	13	13	18	76	57.9%
最適化	6	10	19	16	29	60	52	250	56.4%
熱特性	6	15	8	10	28	47	30	188	55.9%
相溶化	1	6	13	7	8	19	14	74	55.4%
脆性		3	3	7	11	9	8	51	54.9%
繊維強化	1	4	3	5	8	15	13	66	54.5%
引張特性	2	5	5	3	10	13	5	52	53.8%
剛性	5	8	8	17	17	33	30	156	51.3%
親水性		9	3	1	6	8	8	43	51.2%

機能性では、「ロバスト性」、「レオロジー特性」、「塑性」、「疎水性」、「延性」、「微生物分解性」、「弾性」、「脆性」、「繊維強化」、「引張特性」、「剛性」、「親水性」等が増えている。

③分析 ～深掘り分析の例～

注目技術例

注目テーマ	炭素繊維強化プラスチックのクローズドループリサイクル技術
背景	- 炭素繊維強化プラスチック（CFRP）は、軽量で高い強度をもち、航空機や自動車のドア、大型風力発電や建築材料などの高い強度や剛性が求められる分野を中心に、広く使用されている。 - 工程廃材や使用済みの廃CFRPの多くは、サーマルリサイクルや埋立処理に用いられている。 - リサイクルにおいては、炭素繊維にダメージを与えずにプラスチックと分離することが課題である。
注目技術	- ロジン由来フマロピマル酸(FPA)/グリセロールトリグリシジルエーテル(GTE)/ヒドロキシ末端超分枝ポリエステル(HBP)15-炭素繊維(CF)は、ヒドロキシ末端HBPの触媒操作中にエチレングリコールにより分解され、分解マトリックスはクローズドループリサイクルできた。走査電子顕微鏡、ラマン分析および引張試験により、分解反応がリサイクルCFの特性を劣化させないことを示した。 - 優れた機械的性能および高いT_g(ガラス転移温度 >200℃)を有するエポキシ/無水物熱硬化系を、トリエタノールアミンを共硬化剤として、テトラグリシジメチレンジアニン(TGDDM)をエポキシマトリックスとして用いて、炭素繊維強化プラスチック(CFRP)用に開発した。この穏やかなリサイクルプロセスは、リサイクル可能なポリマーマトリックスをオリゴマーに分解し、炭素繊維にほとんどダメージを与えない。

これまでの分析結果から、いくつかの注目技術に着目して文献の読み込みを行い、具体的な技術内容などを深掘りする。

レポートिंगへ



④ レポートティング

〇〇株式会社 御中

中期技術戦略見直しのための 情報収集分析 (最終報告書)

2022年〇月〇日
株式会社ジー・サーチ

FUJITSU



© 2022 G-Search Limited

目次

FUJITSU

1. 調査の背景と目的p.3
2. 調査の進め方p.4-7
3. 調査テーマの設定p.8-10
4. 調査結果概要p.11-15
5. 技術テーマ別詳細分析p.16-40
6. 注目技術p.41-103
7. まとめp.104-105

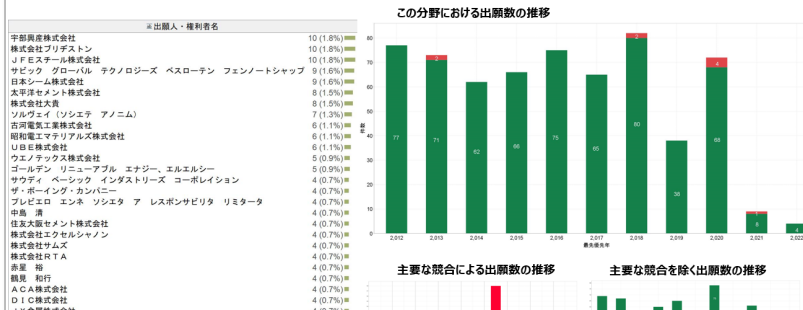
【Appendix】

1. 注目技術の動向p.106-110
2. 特許文献 検索条件及び検索結果p.111-129
3. 特許文献 データ分析結果p.130-166
4. 学術論文 検索条件及び検索結果p.167-180
5. 学術論文 データ分析結果p.181-217
6. 〇〇様 特許分析p.218-221

© 2022 G-Search Limited

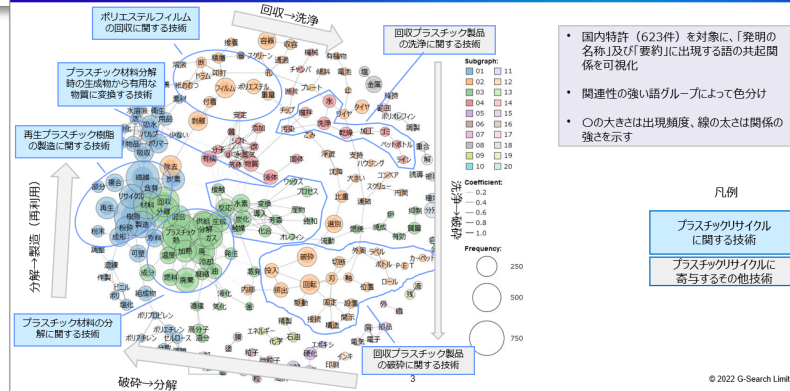
データ分析のイメージ プラスチックリサイクル 基本分析 (国内特許)

FUJITSU



データ分析のイメージ プラスチックリサイクル 共起分析 (国内特許)

FUJITSU



© 2022 G-Search Limited

受託調査分析サービスでは、

- 研究開発テーマ策定、競合他社分析、新規市場開拓、技術動向調査、研究開発パートナー探索など、お客さまの研究開発活動における調査や分析を包括的に支援します。
- 調査分析のよくあるパターンとして、①具体的な仮説がなく、全体を俯瞰しながら、特定の目的に合致する候補を抽出するケースと、②具体的な仮説に対して、客観的なデータから裏付けを行うケースとがあります。
- データベース提供会社として、情報源の選別や文献データベースの調査分析に加えて、原文献の入手、スクリーニング、データ加工などを通じて、様々なご要望にお応えします。
- お客さまの目的やその解決をお手伝いするためのプロセスは千差万別です。**お客さまの要件に合わせて、その都度、カスタマイズしたご提案を行います。まずはご相談ください。**



学術文献検索サービス 「JDreamⅢ」を利用した分析と最新情報

1) JDreamⅢ 検索事例

【1】 背景や技術の概要を理解する

【2】 課題を確認する

【3】 分析する

3-1. 課題の再確認

3-2. 課題に対する研究動向

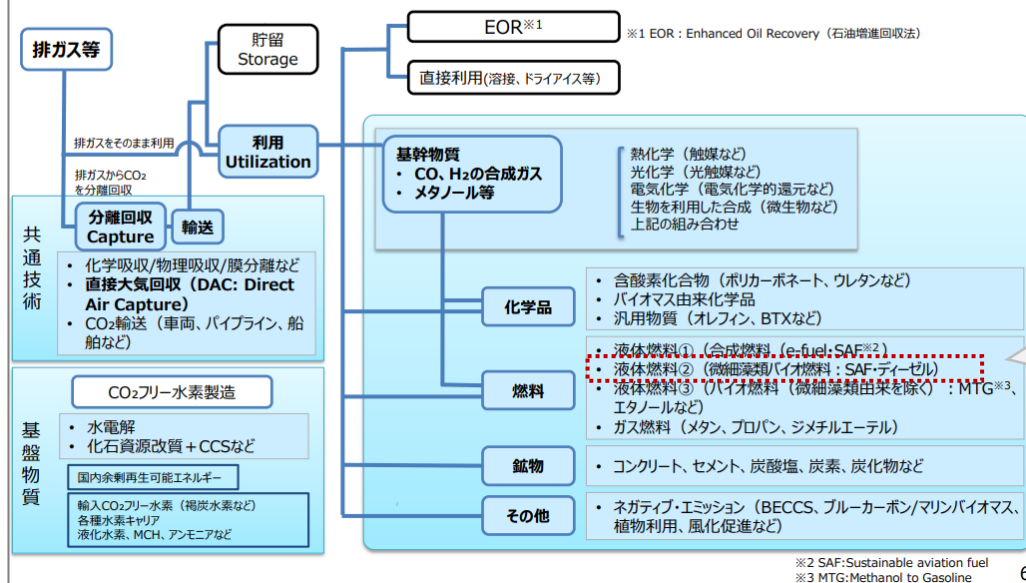
3-3. 研究機関の最新文献

【1】カーボンリサイクルと微細藻類

化石燃料に代わるバイオ燃料として微細藻類が注目されている

カーボンリサイクルとは

- **カーボンリサイクル**：CO₂を資源として捉え、これを分離・回収し、鉱物化によりコンクリート等、人工光合成等により化学品、メタネーション等により燃料へ再利用し、大気中のCO₂排出を抑制。



微細藻類とは？

淡水や海水などにみられる微細な藻類の総称。(略) 水中に浮遊する植物プランクトン以外に、海底の岩や陸上のコンクリート壁に付着している藻類も含む。(略)

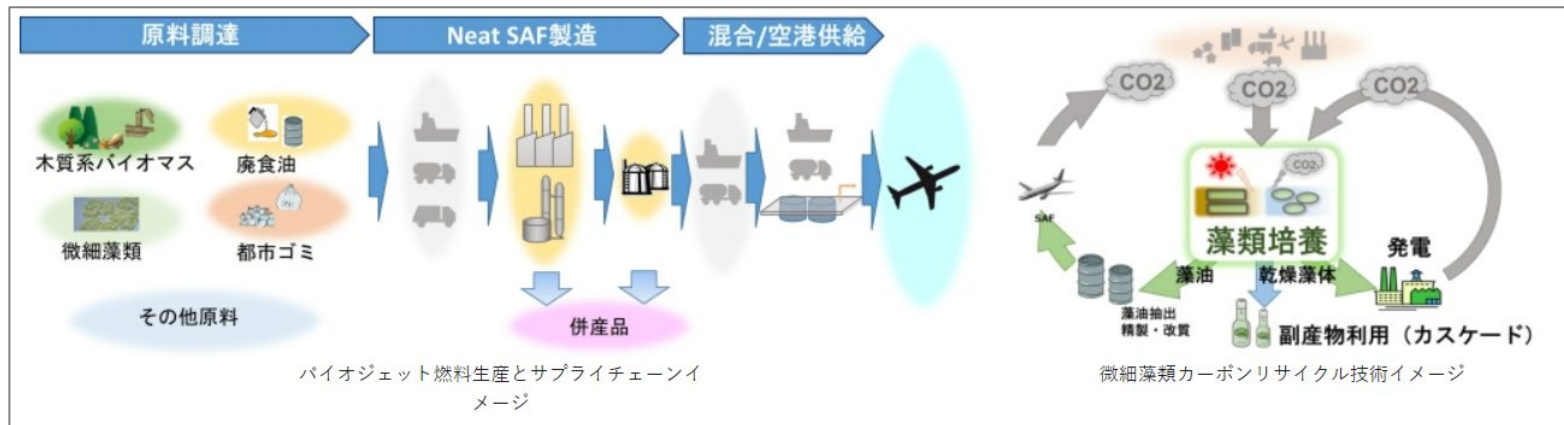
出典：コトバンク
(<https://kotobank.jp/word/%E5%BE%AE%E7%B4%B0%E8%97%BB%E9%A1%9E-2879599>)

出典：(社)藻類産業創成コンソーシアム https://algae-consortium.jp/about_algaebiomass

「カーボンリサイクル技術ロードマップ」経済産業省 2021年改訂 <https://www.meti.go.jp/press/2021/07/20210726007/20210726007.pdf>

【1】 微細藻類を活用したバイオジェット燃料

バイオ燃料の中でもバイオジェット燃料は
2027年の航空業界におけるCO2排出量削減の切り札として特に注目されている



https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP_100127.html

【1】 背景や技術の概要を理解する

【2】 課題を確認する

【3】 分析する

3-1. 課題の再確認

3-2. 課題に対する研究動向

3-3. 研究機関の最新文献

【2】微細藻類利用における技術課題

注目される「微細藻類」だが、実用化には多くの課題も存在している

■ 生産 **本日のテーマはこちら！**

大量培養による生産性の向上、コスト・立地条件検討（CO₂排出源の近隣、周辺環境への影響）、生物種選定（CO₂固定後の利用法に沿った種の探索、遺伝子組み換え、その後の対応）など総合的なシステムとして検討する必要

■ 培養液からの微細藻類の回収

実験レベルでは可能だが大規模生産の場合、収穫率やコスト、培養液から藻類回収に必要な凝集剤の処分などが課題

■ 抽出

乾燥に多量のエネルギーを必要とするため、細胞壁を破碎し多くの脂質分を抽出する技術開発が必要

■ 精製

トリグリセリドを燃料とする場合には水素転換や異性化が必要だが、コストや熱量に課題

参考 https://www8.cao.go.jp/ocean/policies/chousa/pdf/idsenshigen_3.pdf

【1】 背景や技術の概要を理解する

【2】 課題を確認する

【3】 分析する

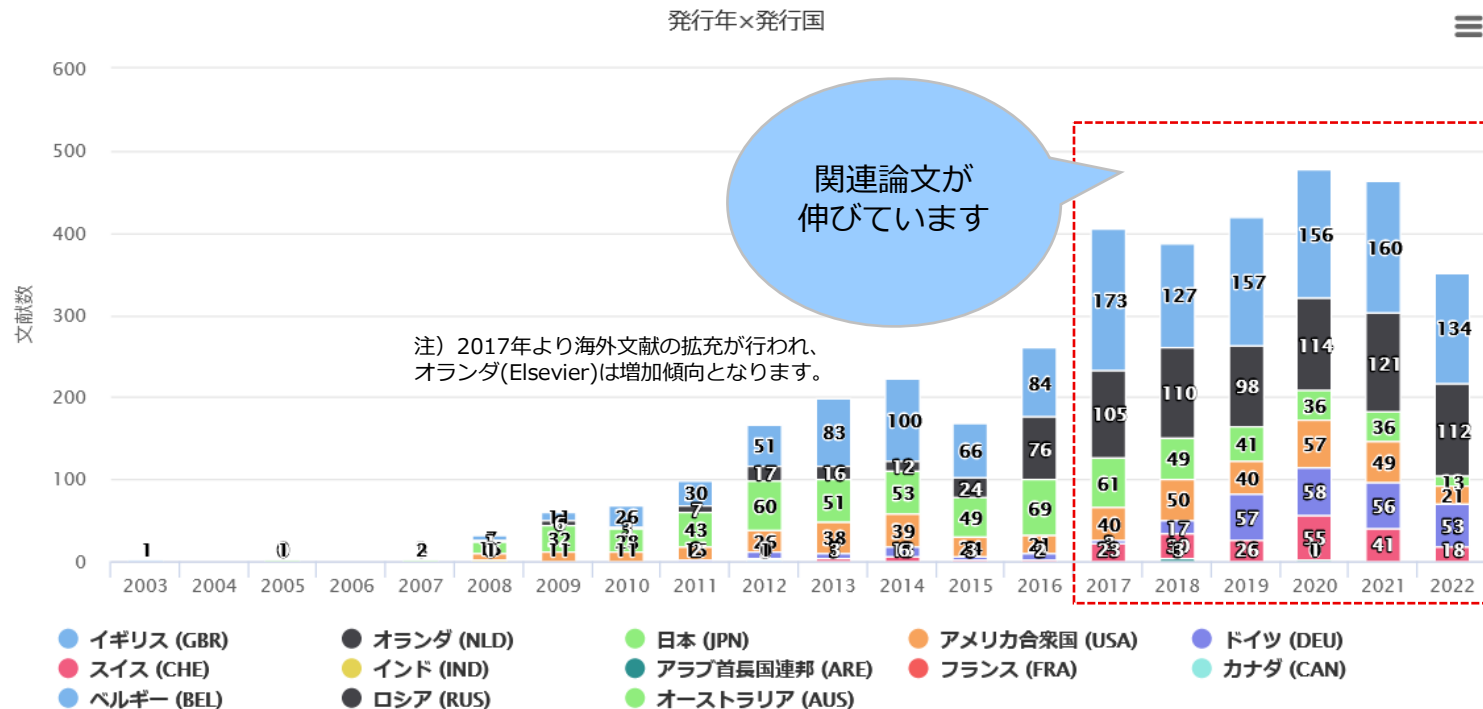
3-1. 課題の再確認

3-2. 課題に対する研究動向

3-3. 研究機関の最新文献

【3-1】全体像の把握

藻×バイオ燃料



【3-1】全体像の把握

藻×バイオ燃料

発行年×シソーラス用語（下位語除く）

生産に
関する語も
入っている

クロレラ	0	0	0	0	0	0	1	5	4	6	11	18	15	15	24	15	30	26	30	19
窒素	0	0	0	0	0	1	0	2	2	2	3	9	2	19	31	30	30	33	37	22
炭素	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	3	2	1	11	29	24	28	50	50	35
ンバク質	0	0	0	0	0	0	1	0	2	6	4	10	6	15	26	23	31	43	46	38
廃水处理	0	0	0	0	0	3	3	4	6	5	8	13	9	19	23	18	21	36	62	38
クロレラ属	0	0	0	0	0	0	1	6	3	6	11	20	8	14	12	24	41	45	45	33
生産	0	0	0	0	0	3	3	4	8	11	29	51	37	51	13	19	5	13	9	29
栽培	0	0	0	0	0	0	0	3	2	4	4	2	2	10	31	37	48	58	52	45
二酸化炭素	0	0	0	0	2	6	13	8	10	11	13	13	16	19	27	40	33	37	27	27
藍藻類	0	0	0	1	0	6	4	3	8	17	16	23	14	23	29	23	29	44	42	19
化石燃料	0	0	0	0	1	2	1	3	0	7	1	2	3	13	32	43	35	59	57	58
脂肪酸	0	0	0	0	0	0	3	5	3	7	9	21	14	14	27	40	55	42	47	37
脂肪族アルコール	1	0	0	0	1	5	9	9	16	18	27	27	24	28	31	27	26	30	39	26
栄養素	0	0	0	0	0	1	0	6	2	3	7	8	7	20	47	45	55	42	55	49
ディーゼル燃料	0	0	0	0	1	11	10	13	20	18	44	44	8	6	45	58	71	12	1	2
廃水	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	6	4	3	13	37	48	45	56	85	69
光合成	0	0	0	1	1	7	11	7	10	20	28	23	16	22	50	29	28	41	44	43
最適化	0	0	0	0	0	0	1	1	2	6	2	10	7	15	42	50	59	72	68	52
培養	0	0	0	0	0	3	5	3	10	14	28	37	18	33	76	70	81	9	12	62
脂質	0	0	0	0	0	0	4	5	9	12	30	39	23	36	106	112	127	148	130	100
	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022

【3-2】 課題検索 (クイックサーチ)

 日本最大級の科学技術文献情報データベース

ご意見・お問合せ ヘルプ モード選択へ戻る ログアウト

クイックサーチ 科学技術・医学薬学文献

藻 バイオ燃料 生産効率 クリア

☒ 関連語を含めて検索する

検索

Powered By Accela

ヒット件数 190件 10,000件以内を グラフ表示

※ 「一括選択」クリックで、No. 1 ～ No. 20 が選択されます。 ※ 選択状態はページが変わっても有効です。

一括選択 一括解除 1 ～ 20 件目を表示 (190 件中) ソート順 発行日順

No.	標題	類似検索
☐ 1	地球環境とバイオリアクター～基礎から応用まで～〈第56回〉脱炭素・水素社会の基幹バイオ燃料開発の動向(4)木質バイオマスの200倍のCO ₂ 削減効果をもたらす甘藷の葉のポリフェノール含量と光合成効率に対する紫外線の影響 化学装置 Vol.64 No.5 Page.75-79 (2022.05.01) *サツマイモ, *生物燃料, 水耕, 液体肥料, 光合成, 多価フェノール, 採光, アルカン,*甘藷, ポリフェノール	JDreamⅢ 特許

絞り込み検索

発行年で絞り込む

検索式詳細

(藻 + "藻類"/AL + "も"/AL + "藻"/AL) * (バイオ燃料 + "生物燃料"/AL + "バイオフェューエル"/AL

☐ 逐次刊行物 (175)

☐ 会議録 (15件)

アドバンスドサーチ

【3-2】 検索語の確認(アドバンスドサーチ)

Dream III 日本最大級の科学技術文献情報データベース

ご意見・お問合せ ヘルプ モード選択へ戻る ログアウト

アドバンスドサーチ - 検索条件 JSTPlus+JMEDPlus 変更 検索対象ファイル情報

シソーラス・辞書参照

JSTシソーラスmap閲覧
JST分類コード閲覧
日本語異表記辞書ブラウザ

(藻 + "藻類"/AL + "も"/AL + "藻"/AL) * (バイオ燃料 + "生物燃料"/AL + "バイオフィューエル"/AL + "バイオマス燃料"/AL + "バイオ燃料"/AL + "生物体燃料"/AL) * (生産効率 + "生産効率"/AL + "製造効率"/AL + "製造能率"/AL)

JSTシソーラスブラウザ 参照 検索フィールドコード参照



Dream III 日本最大級の科学技術文献情報データベース

ご意見・お問合せ ヘルプ モード選択へ戻る ログアウト

アドバンスドサーチ - 検索条件 JSTPlus+JMEDPlus 変更 検索対象ファイル情報

シソーラス・辞書参照

JSTシソーラスmap閲覧
JST分類コード閲覧
日本語異表記辞書ブラウザ

(藻 + "藻類"/AL + "藻"/AL) * (バイオ燃料 + "生物燃料"/AL + "バイオフィューエル"/AL + "バイオマス燃料"/AL + "バイオ燃料"/AL + "生物体燃料"/AL) * (生産効率 + "生産効率"/AL + "製造効率"/AL + "製造能率"/AL)

JSTシソーラスブラウザ 参照 検索フィールドコード参照

【参考】検索ワードのチェック

» JSTソーラスブラウザ - 詳細

候補

索引語情報

索引語	生産効率
英語表記	production efficiency
種別	準ソーラス用語

JSTソーラスmapを表示

検索範囲設定

☒ 同義語／英語表記で検索範囲を広げる ☐ サブヘディングで検索範囲を絞り込む

※ 選択した同義語が検索に加わります。

☐ 全て選択

☐ 製造効率

☐ 製造能率

※ 選択した関連物質が検索に加わります。

関連物質はありません。

※ 選択した同義語（英語表記）が検索に加わります。

☐ 全て選択

☐ production efficiency

※ 選択した関連物質（英語表記）が検索に加わります。

関連物質（英語表記）はありません。

検索条件セット

検索範囲設定

☒ 同義語／英語表記で検索範囲を広げる ☐ サブヘディングで検索範囲を絞り込む

※ 選択した同義語が検索に加わります。

☐ 全て選択

☐ 製造効率

☐ 製造能率

※ 選択した関連物質が検索に加わります。

関連物質はありません。

※ 選択した同義語（英語表記）が検索に加わります。

☐ 全て選択

☐ production efficiency

※ 選択した関連物質（英語表記）が検索に加わります。

関連物質（英語表記）はありません。

検索条件セット

検索範囲設定

☒ 同義語／英語表記で検索範囲を広げる ☐ サブヘディングで検索範囲を絞り込む

※ 選択した同義語が検索に加わります。

☐ 全て選択

☐ 製造効率

☐ 製造能率

※ 選択した関連物質が検索に加わります。

関連物質はありません。

※ 選択した同義語（英語表記）が検索に加わります。

☐ 全て選択

☐ production efficiency

※ 選択した関連物質（英語表記）が検索に加わります。

関連物質（英語表記）はありません。

検索条件セット

関連ソーラス用語一覧（リンククリッ

「生産効率」に關係しているソーラス用語

上位ソーラス用語群	効率
関連ソーラス用語群	生産性

「JSTソーラスブラウザ」の「関連ソーラス用語一覧」を見ると、検索ワードのヒントが得られます。

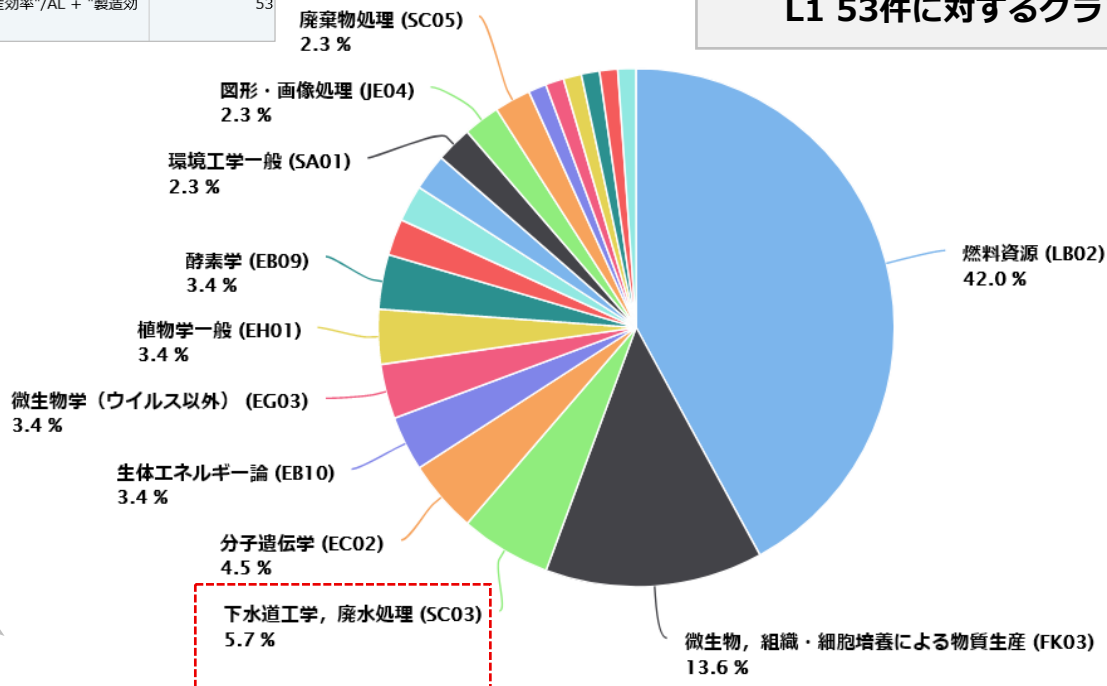
【3-2】 課題に対する研究動向

L番号	操作内容	ヒット件数
L1	検索対象ファイル: JSTPlus+JMEDPlus (藻 + "藻類"/AL + "藻"/AL) * (バイオ燃料 + "生物燃料"/AL + "バイオフューエル"/AL + "バイオマス燃料"/AL + "バイオ燃料"/AL + "生物体燃料"/AL) * (生産効率 + "生産効率"/AL + "製造効率"/AL + "製造能率"/AL)	53

藻類って下水で育つのかな？
廃水分野でも解決できるかも？

JST分類

L1 53件に対するグラフ



【3-3】 分野を限定する

L番号 ?	検索履歴 ?	ヒット件数 ?
	検索対象ファイル: JSTPlus+JMEDPlus	
☐ L1 表示	(藻 + "藻類"/AL + "藻"/AL) * (バイオ燃料 + "生物燃料"/AL + "バイオフューエル"...	53
☐ L2 表示	("藻類"/AL OR "藻"/AL OR "alga"/ALE	
☐ L3	"下水"/AL OR "Sewage"/ALE OR "drain	
☐ L4 表示	L2 AND L3	

L番号	操作内容	ヒット件数
	検索対象ファイル: JSTPlus+JMEDPlus	
L1	(藻 + "藻類"/AL + "藻"/AL) * (バイオ燃料 + "生物燃料"/AL + "バイオフューエル" + "バイオマス燃料"/AL + "バイオ燃料"/AL + "生物体燃料"/AL) * (生産効率 + "生産効率"/AL + "製造能率"/AL)	53
L2	("藻類"/AL OR "藻"/AL OR "alga"/ALE OR "algae"/ALE OR "algal"/ALE) AND ("生物燃料"/AL OR "バイオフューエル"/AL OR "バイオマス燃料"/AL OR "バイオ燃料"/AL OR "生物体燃料"/AL OR "Biofuels"/ALE OR "biofuel"/ALE OR "biomass fuel"/ALE)	8,838
L3	"下水"/AL OR "Sewage"/ALE OR "drainage"/ALE OR "foul water"/ALE OR "sewage water"/ALE OR "sewer"/ALE OR "sewerage"/ALE OR "waste water"/ALE OR "wastewater"/ALE OR "廃水"/AL OR "廃棄水"/AL OR "廃棄液"/AL OR "廃液"/AL OR "Waste Water"/ALE OR "aqueous waste"/ALE OR "discharge"/ALE OR "disposal liquid"/ALE OR "effluent"/ALE OR "foul solution"/ALE OR "spent liquor"/ALE OR "waste"/ALE OR "waste effluent"/ALE OR "waste fluid"/ALE OR "waste liquid"/ALE OR "waste liquor"/ALE OR "waste water"/ALE OR "wasted water"/ALE OR "wastewater"/ALE	934,834
L4	L2 AND L3	1,902

下水・廃水分野では
どのような研究が
行われているかな？

「藻 AND バイオ燃料」

「下水 OR 廃水」

「藻 AND バイオ燃料」 AND
「下水 OR 廃水」

【3-3】レコードの確認

抄録

Chlorella luteoviridisとParachlorella hussiiとして特定された菌株

酸化ストレスにかなり寛容であるため、粗廃水中で極めてよく成長できた。

蓄積された脂質はパーム油やヒマワリ油由来のバイオディーゼルと同等の特性

＜ここまでの流れ＞

- ① 藻を使ったバイオ燃料の生産性を調査
- ② 「下水・廃水」での研究を確認
- ③ 藻を使ったバイオ燃料を下水分野で見る
- ④ 「クロレラ属」を発見★

→クロレラ属(藻)を活用したバイオ燃料は？

発行年×シソーラス用語（下位語除く）

クロレラ	0	0	0	0	0	0	1	5	4	6	11	18	15	15	24	15	30	26	30
藻類	0	0	0	0	0	1	0	2	2	2	3	9	2	19	31	30	30	33	37
炭素	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	3	2	1	11	29	24	28	50	50
タンパク質	0	0	0	0	0	0	1	0	2	6	4	10	6	15	26	23	31	43	43
廃水処理	0	0	0	0	0	3	3	4	6	5	8	13	9	19	23	18	21	36	36
クロレラ属	0	0	0	0	0	0	1	6	3	6	11	20	8	14	12	24	41	45	45
生産	0	0	0	0	0	3	3	4	8	11	29	51	37	51	13	19	5	13	13
栽培	0	0	0	0	0	0	0	3	2	4	4	2	2	10	31	37	48	58	58
二酸化炭素	0	0	0	0	2	6	13	8	10	11	13	13	16	19	27	40	33	37	37
藍藻類	0	0	0	1	0	6	4	3	8	17	16	23	14	23	29	23	29	44	44
化石燃料	0	0	0	0	1	2	1	3	0	7	1	2	3	13	32	43	35	59	57
脂肪酸	0	0	0	0	0	0	3	5	3	7	9	21	14	27	40	55	42	47	47
脂肪酸アルコール	1	0	0	0	1	5	9	9	16	18	27	27	24	30	39	26	26	26	26
栄養素	0	0	0	0	0	1	0	6	2	3	7	8	0	0	0	0	0	0	0
ディーゼル燃料	0	0	0	0	1	11	10	13	20	18	44	0	0	0	0	0	0	0	0
廃水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
光合成	0	0	0	1	1	7	11	7	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
最適化	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0
培養	0	0	0	0	0	3	5	3	10	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脂質	0	0	0	0	0	0	4	5	9	12	3	0	0	0	0	0	0	0	0

微細藻類の中でも
クロレラ属を
利用すると
よく育ちそう

関連研究も
増加傾向

【3-3】 クロレラ属(藻)を活用したバイオ燃料

L番号	操作内容	ヒット件数
	検索対象ファイル：JSTPlus+JMEDPlus	
L1	(藻 + "藻類"/AL + "藻"/AL) * (バイオ燃料 + "生物燃料"/AL + "バイオフィューエル"/AL + "バイオマス燃料"/AL + "バイオ燃料"/AL + "生物体燃料"/AL) * (生産効率 + "生産効率"/AL + "製造効率"/AL + "製造能率"/AL)	53
L2	("藻類"/AL OR "藻"/AL OR "alga"/ALE OR "algae"/ALE OR "algal"/ALE) AND ("生物燃料"/AL OR "バイオフィューエル"/AL OR "バイオマス燃料"/AL OR "バイオ燃料"/AL OR "生物体燃料"/AL OR "Biofuels"/ALE OR "biofuel"/ALE OR "biomass fuel"/ALE)	8,838
L3	"下水"/AL OR "Sewage"/ALE OR "drainage"/ALE OR "foul water"/ALE OR "sewage water"/ALE OR "sewer"/ALE OR "sewerage"/ALE OR "waste water"/ALE OR "wastewater"/ALE OR "廃水"/AL OR "廃棄水"/AL OR "廃棄液"/AL OR "廃液"/AL OR "Waste Water"/ALE OR "aqueous waste"/ALE OR "discharge"/ALE OR "disposal liquid"/ALE OR "effluent"/ALE OR "foul solution"/ALE OR "spent liquor"/ALE OR "waste"/ALE OR "waste effluent"/ALE OR "waste fluid"/ALE OR "waste liquid"/ALE OR "waste liquor"/ALE OR "waste water"/ALE OR "wasted water"/ALE OR "wastewater"/ALE	
L4	L2 AND L3	
L5	("生物燃料"/AL OR "バイオフィューエル"/AL OR "バイオマス燃料"/AL OR "バイオ燃料"/AL OR "生物体燃料"/AL OR "Biofuels"/ALE OR "biofuel"/ALE OR "biomass fuel"/ALE) AND ("クロレラ属"/AL OR "Chlorella"/AL OR "Chlorella"/ALE)	1,689

「どこで」、
「なにを」
研究している
かな？

【3-3】日本国内のプレーヤー

L5	("生物燃料"/AL OR "バイオフェューエル"/AL OR "バイオマス燃料"/AL OR "バイオ燃料"/AL OR "生物体燃料"/AL OR "Biofuels"/ALE OR "biofuel"/ALE OR "biomass fuel"/ALE) AND ("クロレラ属"/AL OR "Chlorella"/AL OR "Chlorella"/ALE)	1,689
L6	((("生物燃料"/AL OR "バイオフェューエル"/AL OR "バイオマス燃料"/AL OR "バイオ燃料"/AL OR "生物体燃料"/AL OR "Biofuels"/ALE OR "biofuel"/ALE OR "biomass fuel"/ALE) AND ("クロレラ属"/AL OR "Chlorella"/AL OR "Chlorella"/ALE) AND (JPN/CY))	16
L7	((("生物燃料"/AL OR "バイオフェューエル"/AL OR "バイオマス燃料"/AL OR "バイオ燃料"/AL OR "生物体燃料"/AL OR "Biofuels"/ALE OR "biofuel"/ALE OR "biomass fuel"/ALE) AND ("クロレラ属"/AL OR "Chlorella"/AL OR "Chlorella"/ALE) AND (JP OR JAPAN)/CSS)	42
L8	L6 OR L7	

＜論文を日本国内に限定する方法＞

- ① 「言語・記事区分などで絞込む」の「発行国」を「日本」にします。
- ② 「フィールド選択入力」の「選択項目」を「所属機関名・団体著者名」にして、「JP OR JAPAN」で検索します。
- ③ ①と②を、OR検索します。

＜グラフからの気づき！＞

- ・継続的なプレーヤーと共創の可能性はないか？
- ・中心的な研究者は？
- ・直近の論文から課題解決のキーが見つかるかも？
- ・大学名が多く、まだ実用化されていないのかな？

		発行年×機関ID																							
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
名城大学 (201551000097482299)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
静岡大学 (201551000097133278)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広島大学 (201551000096408710)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
茨城大学 (201551000098181209)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
味の素株式会社 (201551000097620217)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東京工業大学 (201551000096291252)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富山県立大学 (201551000097907532)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山梨大学 (201551000097963750)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神戸大学 (201551000096383297)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金沢大学 (201551000095949335)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪工業大学 (201551000097234210)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東京農業大学 (201551000096899048)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
株式会社日健総本社 (201551000096644236)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本大学 (201551000098168008)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東京農工大学 (202151000169009116)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
名古屋大学 (201551000097498730)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都大学 (201551000097281374)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東京理科大学 (201551000096656730)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東京大学 (201551000096160140)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
筑波大学 (201551000097159323)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

・ 東京大学

抄録

本研究は、重イオンビームによる先端的な分子育種法の開発を目指し、緑藻類のクロレラとヘマトコッカスを主に用い

mRNAのcDNAシーケンスを行い、遺伝子の同定をより高精度にする予定である。更に、クロレラを用い固相表面で連続培養する技術開発に成功し、池型培養の10倍以上の効率で連続的に細胞回収できること、20日程度は連続培養できることを明らかにした。本技術は、加温やCO₂供給が比較的容易なことから、今後はスケールアップの課題と屋外での検証実験を行う予定である。

抄録

再生可能エネルギーの中で、微細藻類によるバイオ燃料は、生産効率が高く次世代のバイオ燃料として注目されている。

バイオマス生産性は $1.04\text{g} \cdot \text{L}^{-1} \cdot \text{day}^{-1}$ と比べて高く、屋外半開放系のバイオリアクターで実施した培養実験では、乾燥重量当たりのオイル蓄積量は66%に達した。また、チェコ共和国での実用例から、クロレラがバイオ燃料サイクルに役立てることが証明されている。

<世界を変えるSTORY vol.7 -アルガルバイオ->

クロレラで有用物質を生産
人々の健康や環境を守る

“このカラフルな色調は、クロレラに含まれる葉緑素やカロテノイドの種類や含有量の違いによって生まれる。数週間で培養できるクロレラは高等植物などと比べ、生産性が高い。”



■ 図2 七色クロレラ

提供：JSTnews

【まとめ】JDreamⅢ検索で分かったこと

【目的】 藻を使ったバイオ燃料の生産性を向上したい

【結果】

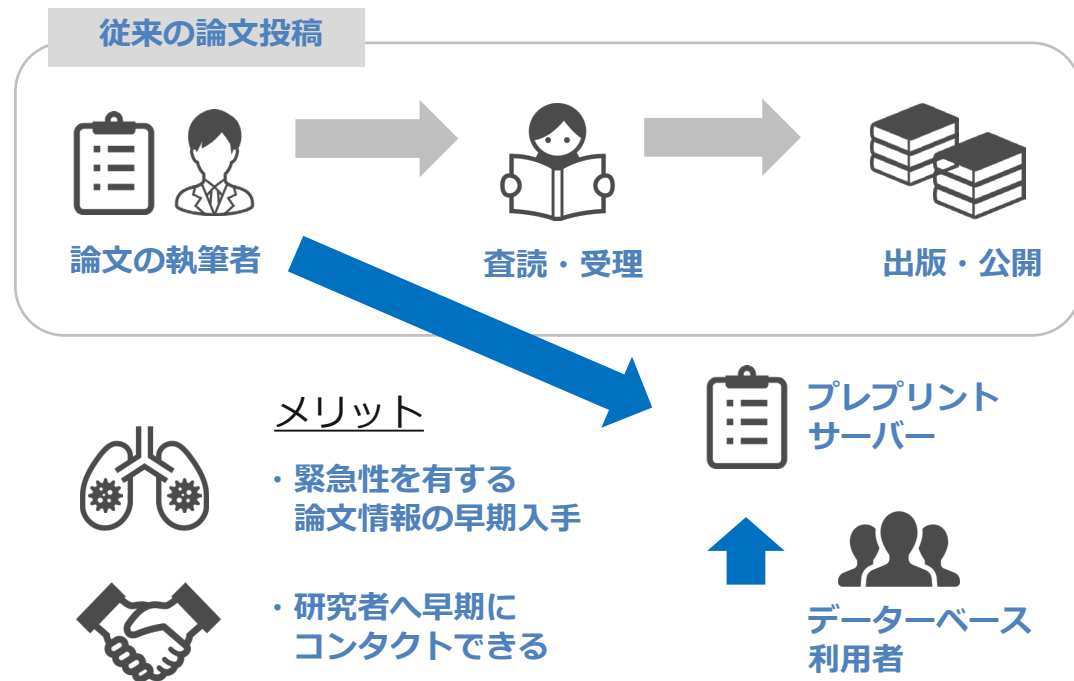
- ・ 藻を活用したバイオ燃料の関連研究は増加傾向である。
- ・ 藻の中でもクロレラ属は廃水で効率良く生産できる。
- ・ 基礎研究が多く、実用化に向けて伸びしろがありそう。

★ JDreamⅢを利用すると ★

- ・ 研究課題を解決するヒントを見つけられます。
- ・ 研究者、研究機関に関する情報が得られます。

2) JDreamⅢ 最新情報

プレプリントとは



サービス概要

2022年7月サービス開始

- ・ 更新頻度：隔週
 - ・ 収録数：72万件（2022年11月現在）
約27万件/年
 - ・ アドバンスドサーチ/クイックサーチで
使用可能
 - ・ 単独ファイルとして提供（PREPRINT）
- arXiv.org bioRxiv medRxiv
- THE PREPRINT SERVER FOR BIOLOGY THE PREPRINT SERVER FOR HEALTH SCIENCES
- ・ プレプリントファイルは arXiv, bioRxiv, medRxivのサーバに投稿された論文を収録
 - ・ ユーザSDI、グラフ化の対象外です。

○ 収録されているプレプリントサーバー：

サーバ名	主な収録分野	更新件数
arXiv（アーカイブ）	物理、数学、コンピュータサイエンス、定量生物学、定量金融学・統計学	約8,300件/回
bioRxiv（バイオアーカイブ）	生物学	約2,200件/回
medRxiv（メドアーカイブ）	医学、臨床研究、及び関連する健康科学	約800件/回

○ JDreamⅢで検索するメリット

複数のプレプリントサーバを同時に日本語で検索できます。

シソーラス用語での検索が可能です。

特定のサーバーを指定した検索が可能です。

他のファイルと同様の形式で出力することができます。（収録項目は一部異なります）

無料ファイルとして提供しています。

■シソーラス改訂（2022年7月）

近年の医療技術の進歩に伴い、医学系シソーラス用語の見直しを2021年から実施しており、2022シソーラス改訂では、JMEDPlus独自のサブヘディング索引を含め、適切な検索が可能となるよう階層の見直しを行いました。

改訂対象

- ・新語 なし
- ・修正語 12語（見出し語 3語）
- ・削除語 1語

2022見出し語	旧シソーラス（2021）
乳房温存手術	乳房温存療法
デブリードマン	創面清掃術
凍結療法	凍結外科

改訂語一覧（抜粋）

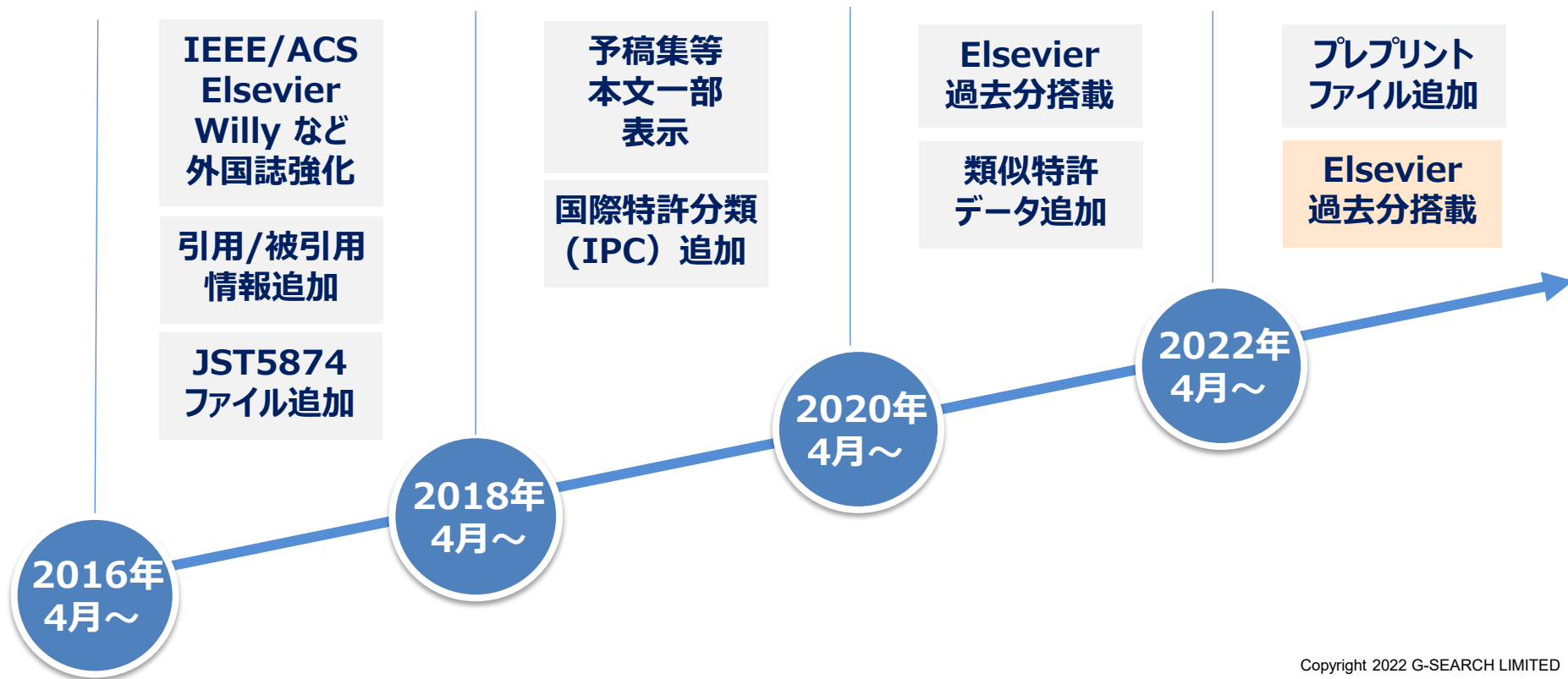
2022シソーラス		旧シソーラス（2021）	
見出し語	階層	見出し語	階層
心筋再灌流	BT 再灌流	心筋再灌流	BT 再灌流
	BT 血行再建		BT 心臓外科
光凝固	BT レーザ療法	光凝固	BT 眼科外科

参考

- ・シソーラス改訂について https://jdream3.com/news/document/20220530_jd_thesaurus_revise2022.xlsx
- ・2022 シソーラス改訂における医学系シソーラス用語の見直し https://jdream3.com/news/document/20220725_jd_thesaurus2022.pdf

JDreamⅢ 収録データ強化の取り組み

2016年以降の主なコンテンツ強化



■ 収録時期：2022年11月～2023年4月（予定）

■ 対象誌：Elsevier社の発行する843誌

例) Biochemical and Biophysical Research Communications（ライフサイエンス）、
Journal of Magnetism and Magnetic Materials（物性物理）、
Bioorganic & Medicinal Chemistry Letters（有機・高分子化学）、
Clinical Neurophysiology（医学・薬学）、
Applied Mathematics and Computation（管理・システム技術） など

● 収録件数：30万件

● 対象年代：2015年～2016年

● 対象分野：医薬、サイエンス分野

- ・当月更新分から23年4月頃（予定）まで、毎週の更新レコードに遡及データが収録されます。
- ・過去分の遡及データには収録時のレンジ（/RG）が索引されます。
- ・過去分データはユーザSDI、スタンダード/リクエストSDIでは配信されません。

管理者ログイン画面の変更

管理者画面へのログイン方法がBasic認証からフォーム認証へ変更

例) 検索サービス管理者画面ログイン

The image shows two versions of the JDream III website's administrator login page. The top version, labeled '変更前' (Before Change), shows a navigation bar with a red box around the '管理者ログイン' (Administrator Login) button. Below it, a modal window prompts the user to sign in to the site at <https://dbs.g-search.or.jp> and provides fields for 'ユーザー名' (Username) and 'パスワード' (Password), with 'サインイン' (Sign In) and 'キャンセル' (Cancel) buttons. The bottom version, labeled '変更後' (After Change), shows the main login form with fields for 'ユーザID' (User ID) and 'パスワード' (Password), and a 'ログインする' (Login) button. A large grey arrow points from the '変更前' state to the '変更後' state, indicating the transition from Basic authentication to Form authentication.

Basic認証からフォーム認証へ

■ 変更予定日：11月24日（木）

■ 対象サービスおよび新ログインURL

① 検索サービス

https://dbs.g-search.or.jp/jdsub/login/S01_jd3_jdm.html

② 科学技術文献速報（Web）

https://dbs.g-search.or.jp/jdsub/login/S02_jd3_jdm.html

③ SDIサービス

https://dbs.g-search.or.jp/jdsub/login/S03_jd3_jdm.html

※ 「管理者ログイン」ボタンをクリックした時に表示される画面が変更になりますが、今までの管理者ID・パスワードで引き続きご利用いただけます。

スタンダードSDIとは

あらかじめ決まっているテーマを購読、ウェブで更新分を確認・ダウンロード

A 共通分野

A1 共通技術

テーマ番号	テーマ名	スコープ・注記	年間推定 件数
JS0003	色、色彩論、色彩管理	光学、照明、建築、塗料、印刷など	2,020
JS0020	ディスプレイ・照明・エネルギー・環境・安全・健康		17,360

C 化学・化学工業分野

C1 化学工業一般

テーマ番号	テーマ名	スコープ・注記	年間推定 件数
JS0152	ゲルおよびゲル化の利用	機能性ゲルのみに関する文献は「JS0970 ゲルおよびゲル化の利用(機能性ゲル)」(C10)を参照	19,980
JS0183	化学工業における事故防止と安全管理		4,020
			3,740
			6,240
			1,490
JS0388	化学工業・燃料工業の廃水処理		1,080

さまざまな分野に関する約700テーマが用意されており、**1テーマ 年間45,000円で購読が可能です。**

記事一覧表示

JSTPlus JS0014 10/16

項番	登録番号	記事タイトル
1	20A1962790	酸化状態と酸素-空孔誘導仕事関数は二機能性酸素電極触媒活性を制御する【JST・京大機械翻訳】
2	20A1962786	白金上のNafion特異的吸着の緩和のためのイオン液体添加剤【JST・京大機械翻訳】
3		オンライン回答表示
4		JSTPlus JS0014 10/16
5		SDI REQUEST : 290 TITLE : 燃料電池 600 ANSWERS PRINTED IN FORMAT 'ALL' IN FILE : JSTPlus FORMAT : 全項目(ALL) USING QUERY : L1 YB04040V/CC DN 20A19 L2 燃料(W)電池 セル/AL + バイオマス バイオ 生物 細菌 酵素 グルコース 糖 生物電気化学(3W)電 TI 池/AL # ((太陽電池/AL + バイオ 生物 光化学電池/AL) # 燃料電池/AL) L3 PEMFC/AL # 森林/AL + ((DAFC/AL + DMFC/AL + DEFC/AL + DOFC/AL + DFAFC/AL) * (固体電解 TIEN 質/AL + 電解質膜/AL + 高分子電解質/AL + ポリマ電解質/AL) + SOFC/AL * (イオン導電体 プロトン導電体 Activit (酸化物 セラミック セラミック 固体(IW)電解質/AL + SFC/AL) AU fuel cell/TIEN L4 L1 + L2 + L3 + L4 L5 L5 ANSWER 1 OF 600 JSTPlus JST COPYRIGHT DN 20A1962790 SO ACES TI 酸化状態と酸素-空孔誘導仕事関数は二機能性酸素電極触媒活性を制御する【JST・ JSTPlus 京大機械翻訳】 TIEN Oxidation State and Oxygen-Vacancy-Induced Work Function Controls Bifunctional Oxygen Electrocatalytic Activity

更新のお知らせはメールで配信されます。ウェブには過去3か月分のデータが蓄積されています。

ご参考：2022年度の追加テーマ 21テーマ

RPA・ローコード・ノーコード	エネルギーハーベスティング
デジタルトランスフォーメーション	非熱プラズマ
デジタルサイネージ	抗ウイルス素材
仮想現実（メタバース）・AR	MaaS
第6世代移動通信システム	MEMS
非接触テクノロジー	人工知能(応用)_創薬
デジタルツイン	デジタルヘルス
スマートシティ・スマートコミュニティー	ゲノム編集
スマート農業	オルガノイド
循環型経済	中分子医療
光触媒による水分解	

SDIの追加テーマを検討しております。

<https://jdream3.com/service/sdi/>

テーマのご希望があれば、アンケートにご記入ください。

ご協力をよろしくお願いします。

その他 更新/変更・今後の機能強化

No.	変更（予定）項目	リリース時期	概要
1	✓ 外国誌39誌の過去分収録	2021年12月	医学分野を中心とするElsevier社が発行する39誌の2005年から2016年に発行された約14万件のレコードを収録
2	✓ 準シソーラスの対応ディスクリプタ	2022年4月	準ディスクリプタに対応する上位語のシソーラス用語を外国誌のレコードにも索引
3	✓ ユーザSDI配信条件指定の一本化	2022年10月	配信条件の指定条件から「索引付与・訂正時」を廃止し、「索引付与」に一本化
4	機関辞書の更新（※）	2022年12月以降	国立研究開発法人および大学（国立大学法人、公立大学、私立大学）の更新・新規追加を実施
5	物質索引改訂（※）	2023年1月以降	同一の日化辞番号に、物質索引を複数付与できるよう改修実施
6	スタンダードSDI テーマ追加（※）	2023年4月予定	新規テーマ追加の実施予定

※上記計画は変更される可能性があります。

JDreamサービスの最新情報ご紹介

AIを活用した3つのJDream関連サービス



技術を軸とした素早い意思決定に
論文 × 特許 × 新聞記事
自動で分析・可視化

新技術の開発や、新たな市場の開拓など、部門を超えたイノベーション創出



約150万人から
最適な研究パートナー
を検索！

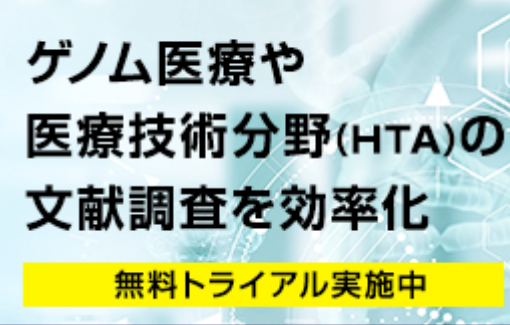


産学官連携の相手探しや
キー・オピニオン・リーダー
(KOL) の探索



ゲノム医療や
医療技術分野(HTA)の
文献調査を効率化

無料トライアル実施中



医薬・ライフサイエンス分野
の研究開発における新たな気
づきを支援

論文・特許・新聞から技術動向や競合を分析する 「JDream Innovation Assist」のご紹介

お客様の「新たな価値の創出」をアシスト

1	新技術・新製品の発明や開発	プロダクション・イノベーション
2	新たな生産方式の導入	プロセス・イノベーション
3	新たなマーケットの開拓	マーケット・イノベーション
4	新たな資源・買い付け先の開拓	サプライチェーン・イノベーション
5	新たなシステム構築による組織の創出	オルガニゼーション・イノベーション

部門を越えたイノベーションをアシスト！

①現状を把握する情報収集をアシスト！



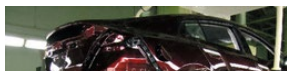
基礎研究



■ 論文

国内・海外の学術文献（JDreamⅢ）

注目の研究テーマ・研究者、新たな素材、企業の研究動向



技術開発



■ 特許文献

国内に出願されている特許情報

新技術、新機能、注目技術、各分野の主要プレイヤー



ビジネス



■ 日刊工業新聞記事

あらゆる産業分野の情報

新商品・注目企業・海外進出・売上目標数値・M&A情報

②収集した情報の分析をアシスト！

俯瞰 技術動向

技術動向分析

特定の技術分野やプレイヤーを、基礎研究・開発・ビジネスの観点で俯瞰技術動向や**注目技術**、**注目プレイヤー**を瞬時に把握

競合動向 共創先の探索

プレイヤー軸で分析

特定分野のプレイヤー、プレイヤーごとの特徴的な技術、プレイヤーのネットワークを瞬時に把握

注目研究者 共創先の探索

研究者・発明者軸で分析

注目テーマの研究者、注目機関に所属する**研究者や発明者**、**発明者のネットワーク**を瞬時に把握

③分析データの活用をアシスト！

情報
シェア

- ・事業戦略/研究戦略の策定
- ・新規テーマの探索
- ・共創/競合プレイヤーの動向確認
- ・共創先の探索
- ・新規顧客の開拓
- ・仕入れ先の開拓

共通認識からコミュニケーションをスムーズに！

情報源	情報源		収録年	検索対象項目	更新頻度
論文データ	JDreamⅢ ・ JSTPlus ・ JMEDPlus	国内・海外の科学技術・医学薬学文献情報。世界50カ国の情報を含む。 海外文献は日本語訳を収録 提供：国立研究開発法人科学技術振興機構	直近12年分 2022年4月時点は発行年2010年分より収録	タイトル,抄録 発行年,資料名 著者名,機関名 主題語, 科学技術分類, 国際特許分類(IPC)※ など	週1回
特許データ	国内特許情報	日本国内出願特許 提供：Patentfield株式会社	直近12年分 2022年4月時点は出願日2010年1月1日より収録	タイトル,要約,代表図面 出願日,出願人,発明者 国際特許分類(IPC) など	週1回
新聞データ	日刊工業新聞	日刊工業新聞記事データ 提供：日刊工業新聞社	直近12年分 2022年4月時点は発行日2010年1月1日分より収録	タイトル, 本文 発行日 国際特許分類(IPC)※	週1回

※独自プログラムによる機械付与

共通する技術分類を付与

技術分類として国際特許分類（IPC）を使用

論文と新聞にIPCを機械付与しており、**特許視点で3つの情報を検索**できます。

IPCの説明文を要約（意識）しており、**誰でも分かりやすい技術分類で検索・表示**できます。



論文・特許・新聞の3つの情報をまとめて検索・結果を自動的にグラフ化

簡易な操作

技術から分析する | 分析する | 1機関から分析する | 1研究者から分析する | 自由に分析する

簡易検索 | 詳細検索 | 概念検索

Q 固体電池 X 類似ワードを追加

すべてを並び替え Q キーワードを入力 類似ワードを追加 削除

キーワードを追加 + 検索条件を追加 +

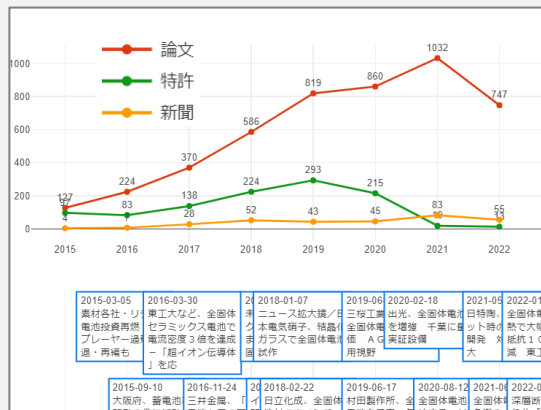
条件をクリア

保存条件を呼出 検索条件を保存 検索

タイトルリスト | グラフ | Myグラフ

検索結果 **6,886**件 (論文 5,067件 特許 1,485件 新聞 334件)

グラフ+トピックス



多彩なグラフ



プラン名	料金	ID数・その他
JDream Innovation Assist 標準プラン	300万円/年間	同時接続数：制限なし 管理者より利用者へ招待メールを配信 利用者IDはメールアドレス
JDream Innovation Assist JDreamⅢセットプラン	240万円/年間 ※JDreamⅢを年間60万円以上ご契約のお客様	

「JDream Innovation Assist」セミナー

FUJITSU

特別セミナー

論文・特許・新聞記事から最新の動向を読み解く
「JDream Innovation Assist」活用事例紹介

本セミナーでは、バイオジェット燃料で注目される「微細藻類」に関する動向調査の事例を紹介します。

開催日時 12/8 (木) 14:00-15:00

参加費 無料

会場 オンライン (Zoom)

お申込み



定期セミナー

「JDream Innovation Assist」体験セミナー

本セミナーでは「JDream Innovation Assist」の役立つ使い方や機能を、事例を用いてデモンストラーションを交えながらご紹介いたします。

開催日時 11/24 (木) 14:00-15:00

参加費 無料

会場 オンライン (Zoom)

お申込み



動画配信



イノベーションをアシストする情報
分析・情報活用
～ テクノロジー情報とニュースデータに
よるハイブリッド分析の有用性 ～

サービスリリース記念特別講演を
YouTubeにて配信中。
知財コンサルタントの野崎氏による、テ
クノロジー情報とニュースデータによる
ハイブリッド分析の有用性についての講
演と、サービスの特徴、本サービスを利用
した技術情報分析の事例をご視聴いた
だけます。

動画視聴のお申込み

<https://ia.jdream3.com/index.html#seminar>

■ サービス紹介サイト

<https://ia.jdream3.com/>

■ トライアル申込

https://jdream3.satori.site/jdia_trial_application_hp

■ サービスに関するお問合せ

https://jdream3.satori.site/jdia_inquiry

■ 動画 2022/5/19リリースセミナー

<https://youtu.be/DxYxeF5aujs>

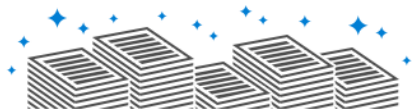
研究者探索サービス 「JDream Expert Finder」の最新情報

JDream Expert Finder とは

約4,300万件の学術文献を情報源とした研究パートナー探索サービスです。
科学技術・医学薬学分野の研究者約150万人を収録します。

JDreamⅢ
学会発表・論文
ビッグデータ

4,300万件



科学技術・
医薬分野の
研究者

150万人



研究推進力と
特別な成長指標

有望な研究者



研究開発の促進・イノベーション活動を支援

JDream Expert Finder のデータ構成

FUJITSU

JDreamⅢの文献データを研究者単位に実績をまとめています。過去の発表論文に付与されているキーワードを研究者に紐付く研究キーワードとして収録します。

ANSWER 1 OF 1 JSTPlus JST COPYRIGHT	JDreamⅢ能写不可
整理番号	19A0588297
和文題名	ANSWER 1 OF 1 JSTPlus JST COPYRIGHT
整理番号	19A0588297
和文題名	ANSWER 1 OF 1 JSTPlus JST COPYRIGHT
JST資料	整理番号 19A0588297
著者名	和文題名 光メカニカル有機材料 液晶エラストマーフィルムの光誘起屈曲現象とチューナブルフォトリソニック結晶への応用
巻号ページ (発行年)	著者名 赤松龍久 (東京工大 科学技術創成研究院 化学生命科研), 穴戸厚 (東京工大 科学技術創成研究院 化学生命科研)
資料種別	巻号ページ 光学
記事区分	資料種別 JST資料番号 G01258 ISSN 0389-6625
発行国	抄録 Vol.48 No.2 Page.73-78 (2019.02.10) 写図表参 参25
抄録	記事区分 巻号ページ (発行年/月/日)
易に制御	発行国 抄録
・光導波	資料種別 逐次刊行物(A)
反射ビー	記事区分 短説(B2)
・逆オパ	発行国 日本(JPN) 言語 日本語(JA)
・光導波	抄録
・フリン	・光で光を制御するフォトリソニック結晶などの技術が注目され、この技術では、既存の光学素子が制御できない特性を有
で繰り返	易に制御可能、
・複層フ	・逆オパ
・逆オパ	・光導波路、低損失レーザ、光スイッチ、表示装置などに利用できるフォトリソニック結晶や、積層型チューナブルフォトリソニック結晶の作製と
・フリン	・反射ビーグ波長の可逆制御について報告。
・繰り返	・逆オパール構造と光応答性からなる積層フィルムを作製し、その光学、力学、熱学応答について検討。
・複層フ	・逆オパール構造と光応答性からなる積層フィルムでは、熱膨張により長波長シフトし、冷却により元の反射ビーグ波長ま
・逆オパ	・フリースタANDINGの逆オパール構造を有する積層フィルムでは、熱膨張により長波長シフトし、冷却により元の反射ビーグ波長ま
・フリン	で繰り返し優先することを確認。
・繰り返	・積層フィルムは、様々な刺激に対して長波長側と短波長側の両方で、反射ビーグ波長がシフトするマルチチューナブルフォトリソニック結
・複層フ	晶として機能することを明確化。
・逆オパ	分類コード BM08040H(535.3/5.09) その他の光学的効果
・フリン	シソーラス用語 *フォトリソニック結晶、*ゴム、高分子液晶、*有機材料、量子光学、屈折率、高分子膜、光照射、同調
・繰り返	*多孔性、光スイッチ、光導波路、複合フィルム、熱膨張、スペクトルシフト
・複層フ	逆シソーラス用語 オプトメカニクス、*液晶エラストマー、可変同調、逆オパール、*光機械効果、光誘起
・逆オパ	IPC(機械付与) G02F1: 物理学> 光学> 光の強度、色、位相、>> 独立の光源から到達する光の強度、色、位相、偏光または
・フリン	G02B6: 物理学> 光学> 光学要素、光学系、まゝ ライトガイド; ライトガイドおよびその他の光学素子、例、...
・繰り返	著者ID 赤松龍久 (200901100644519735), 穴戸厚 (200901100386376118)
・複層フ	機関ID 東京工業大学 (201551000096291252)
・逆オパ	引用 25件 E. Yablonoich: Phys. Rev. Lett., 58 (1987) 2059-2062.
・フリン	S. John: Phys. Rev. Lett., 58 (1987) 2486-2489.
・繰り返	S. Noda, A. Chutinan and M. Imada: Nature, 407 (2000) 608-610.
・複層フ	▼もっと見る

過去5年間に5件以上の文献がJDreamⅢに収録されている研究者が対象です。

富士通 太郎 ○○大学
論文数 115
第一著者論文数 25
被引用数 149
論文初出年 2005
研究キーワード

高分子液晶:78, 分子配向:31, 光重合:15, アゾ化合物:13, 光応答性高分子:8 ……

富士通 太郎氏の論文

JDream Expert Finder

情報源の特長

著者、所属機関が名寄せされており、同一人物、同一機関と判断されれば同じIDでまとめられています。各レコードには主題内容を表す統制されたキーワードが付与されています。

ANSWER 1 OF 1 JSTPlus JST COPYRIGHT		JDreamID複写不可
整理番号	19A0588297	
和文標題	光メカニカル有機材料 液晶エラストマーフィルムの光誘起屈曲現象とチューナブルフォトニック結晶への応用	
著者名	赤松範久 (東京工大 科学技術創成研究院 化学生命科研), 穴戸厚 (東京工大 科学技術創成研究院 化学生命科研)	
資料名	光学	
JST資料番号	G0125B ISSN 0389-6625	
巻号ページ (発行年月日)	Vol.48 No.2 Page.73-78 (2019.02.10) 写真表参 参25	
資料種別	逐次刊行物(A)	
記事区分	解説(b2)	
発行人	日本(JPN) 言語 日本語(JA)	
抄録	・光で光を制御するフォトニック結晶などの技術が注目され、この技術では、既存の光学素子が制御できない特性を容易に制御可能。 ・光導波路、低閾値レーザー、光スイッチ、表示装置などに利用できるフォトニック結晶や、積層型チューナブルフォトニック結晶の作製と反射ピーク波長の可逆制御について解説。 ・逆オパール構造層と光応答層からなる積層フィルムを作製し、その光学、力学、熱学応答について検討。 ・フリースタンドディングの逆オパール構造を有する積層フィルムでは、熱膨張により長波長シフトし、冷却により元の反射ピーク波長まで繰り返し復元することを確認。 ・積層フィルムは、様々な刺激に対して長波長側と短波長側の両方で、反射ピーク波長がシフトするマルチチューナブルフォトニック結晶として機能することを明確化。	
分類コード	BM08040H(535.3/.5.09) その他の光学的効果	
シソーラス用語	*フォトニック結晶, *ゴム, 高分子液晶, *有機材料, 量子光学, 屈光度, 高分子膜, 光照射, 同調, 多孔性, 光スイッチ, 光導波路, 複合フィルム, 熱膨張, スペクトルシフト	
準シソーラス用語	オプトメカニクス, *液晶エラストマー, 可変同調, 逆オパール, *光機械効果, 光誘起	
IPC(機械付与)	G02F1: 物理学> 光学> 光の強度, 色, 位相, ...> 独立の光源から到達する光の強度, 色, 位相, 偏光または... G02B6: 物理学> 光学> 光学要素, 光学系, ま...> ライトガイド, ライトガイドおよびその他の光素子, 例. ...	
著者ID	赤松範久 (200901100644519735), 穴戸厚 (200901100386376118)	
機関ID	東京工業大学 (201551000096291252)	
引用	25件 E. Yablonovitch: Phys. Rev. Lett., 58 (1987) 2059-2062. S. John: Phys. Rev. Lett., 58 (1987) 2486-2489. S. Noda, A. Chutinan and M. Imada: Nature, 407 (2000) 608-610. ▼ もっと見る	
リンク情報		

■ 著者（研究者名）と所属機関の名寄せ
著者ID、機関IDでまとめられています。国内誌、海外誌問わず業績をカバーしています。

著者ID	赤松範久 (200901100644519735), 穴戸厚 (200901100386376118)
機関ID	東京工業大学 (201551000096291252)

■ 統制されたキーワード付与
用語集（シソーラス）から選択されたキーワードが付与されています。著者が使用した用語が異なっても同じ内容であれば同じキーワードが付与されます。
準シソーラス用語はシソーラスに収録されていない新しい用語で、論文中から採用されます。

シソーラス用語	*フォトニック結晶, *ゴム, 高分子液晶, *有機材料, 量子光学, 屈光度, 高分子膜, 光照射, 同調, 多孔性, 光スイッチ, 光導波路, 複合フィルム, 熱膨張, スペクトルシフト
準シソーラス用語	オプトメカニクス, *液晶エラストマー, 可変同調, 逆オパール, *光機械効果, 光誘起

3ステップで求める研究者候補を発見

思いつく研究キーワードや文章から、直感的な操作で、簡単に研究者を見つけることができます。

① 検索

JDream Expert Finder



研究キーワード
研究者名・機関名



② 研究者候補リスト

候補結果一覧

研究者名		所属機関	論文数	第一著論文数	研究分野	
		フルテキスト検索				
氏名_姓	姓, 名, 号 - 姓, 名, 号	氏名_姓	120	245	708	1999
氏名_姓	姓, 名, 号 - 姓, 名, 号	氏名_姓	787	249	141	1998
氏名_姓	姓, 名, 号 - 姓, 名, 号	氏名_姓	91	443	934	1972
氏名_姓	姓, 名, 号 - 姓, 名, 号	氏名_姓	447	462	304	1997
氏名_姓	姓, 名, 号 - 姓, 名, 号	氏名_姓	722	147	405	1996
氏名_姓	姓, 名, 号 - 姓, 名, 号	氏名_姓	636	70	149	1974
氏名_姓	姓, 名, 号 - 姓, 名, 号	氏名_姓	489	42	844	2007

候補リスト

研究者名		所属機関	論文数	第一著論文数	研究分野	
		フルテキスト検索				
氏名_姓	姓, 名, 号 - 姓, 名, 号	氏名_姓	120	245	708	1999
氏名_姓	姓, 名, 号 - 姓, 名, 号	氏名_姓	787	249	141	1998
氏名_姓	姓, 名, 号 - 姓, 名, 号	氏名_姓	91	443	934	1972
氏名_姓	姓, 名, 号 - 姓, 名, 号	氏名_姓	447	462	304	1997
氏名_姓	姓, 名, 号 - 姓, 名, 号	氏名_姓	722	147	405	1996
氏名_姓	姓, 名, 号 - 姓, 名, 号	氏名_姓	636	70	149	1974
氏名_姓	姓, 名, 号 - 姓, 名, 号	氏名_姓	489	42	844	2007

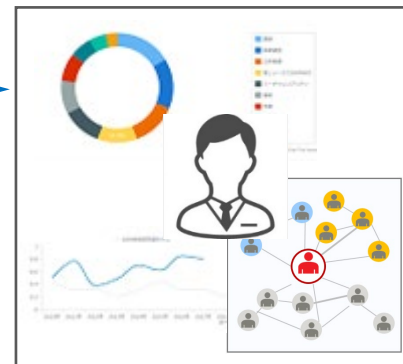
Page Size: 20 / Total Count: 1 / Next / Previous

検索履歴 / 検索条件 / 検索結果 / 検索履歴 / 検索

キーワードの重要度

研究キーワード	重要度指定 (不要) 0 1 2 3 (必須)
IPS細胞	<input type="range"/>
癌免疫療法	<input type="range"/>
細胞傷害性T細胞	<input type="range"/>
発生	<input type="range"/>
細胞分化	<input type="range"/>

③ 研究実績情報



JDreamⅢ論文情報を解析し、技術用語・
共著ネットワークの中心性等を特徴付け

JDreamⅢ

① 検 索



著者ID : 200901100382306077

論文初出年 (1980) / 論文數 (968) / 第一著者論文數 (104) / 被引用數 (1354)

[researchmapでこの研究者を表示](#)

研究室サーチでこの研究者を表示



② 研究室情報

運営会社 運営ポリシー プライバシーポリシー お問い合わせ 採用担当者はこちら 奨学金検索

GPOL Inc.

研究室サ一手 [ページ](#)[就活はLabaseへ！](#)

技術キーワード

可視化	蛍光イメージング	量子制御	遺伝子導入	薬物送達	ファイナパブル	風洞画像	センサー	ラマン分光	顕微鏡	原子力顕微鏡	
光学顕微鏡	深層学習	超音波	放射線光学	顕微分光	3次元イメージング	心臓組織	結晶化	超タンパク質	顕微鏡	減速	非局分光
中性熱鏡	マイクロ波	光シミュレーション	生体計測	分子イメージング	遺伝子変異	非線形光学効果	電圧	超材料	顕微鏡	近赤外	干渉

ちのと見る 34

研究室の詳細

生命総体としての人間を対象に、情報科学、ならびに工学技術に応用した研究・教育を行って。特に、近年いっそうの高度化とQOL (quality of life) の重視が要求されている医療への直接的な貢献を目指し、診断・治療技術の開発・高度化と、その発展を支える人材の育成を行っている。

所属研究者


橋本 守
 教授

CARS	多光子顕微鏡	多光子顕微鏡	3次元イメージング	分子顕微鏡	非線形光学	多光子顕微鏡	生体計測	キーワード	キーワード
近接顕微鏡	光通信装置	分光分析	顕微鏡	投光顕微鏡	レーザー定常波増幅	空間位相制御装置	2次元位相増幅	縦断分析	非線形光学装置
第二世界研究	第一世界研究	可変性	顕微鏡	BALSシステムセンター	非対称性	レーザー増幅器	多光子増強顕微鏡	顕微鏡光学	顕微鏡光学

[外部リンク](#) [researchmap](#) [J-GLOBAL](#) [KAKEN](#) 工程 信譽

[総音楽](#)
[音楽賞](#)
[英イメージング](#)
[空間分解能](#)
[微視光検出](#)
[透過性](#)
[後方散乱光](#)
[ドブラ音速](#)
[屈折](#)
[干渉計](#)
[微小孔](#)
[生体作用](#)
[断片形成](#)

[心室壁動向](#)
[機械的作用](#)
[パルス超音波](#)
[ソノポレーション](#)
[遠近音導入](#)
[タイムラプス顕微鏡](#)
[遠近音発生](#)
[持続性](#)
[超音波治療](#)
[ドップラザリド](#)

[光ビームセット](#)
[ターゲティング装置](#)
[超音波音場](#)
[可視化](#)
[シュリーレン法](#)
[超音波診断装置](#)
[超音波治療装置](#)
[シャドグラフ](#)
[顕微鏡](#)

[外部リンク](#) [researchmap](#) [J-GLOBAL](#) [KAKEN](#)

研究室情報の中には研究室内の概要をはじめ、技術キーワードや所属研究者の情報が含まれます。

JDream Expert Finder 活用シーン

FUJITSU

産学官連携の研究パートナー探索、若手研究者のリクルーティング、キー・オピニオン・リーダーの特定など、様々な目的の研究者探しにお役立てください。

企業・大学・研究機関



共同研究者探索

- 自社の課題を解決しうる研究者を調査
- 産学官連携・オープンイノベーション推進
- 研究推進力のある**若手研究者**の発掘

大学・公的研究機関



Know-Who

- 大学内の技術を俯瞰的に評価、ニーズがマッチする企業へ提案
- リクルーティングでの研究者実績確認

企業



KOL/販売戦略

- 市場に影響力のある研究者（KOL）を探索
- 論文執筆・治験・マーケティング

活用シーンを想定したWebセミナー

テーマ一覧（ソリューションセミナー）

①マテリアルズ・インフォマティクス(MI)

②製薬業界のKOL探索

③デジタルツイン

④マイクロプラスチックと環境問題

⑤カーボンリサイクル

⑥AIを活用する品質管理

NEW

⑦水素社会に向けた燃料電池

NEW

◆ソリューションセミナーの概要

- ・参加費は無料（ご契約のないお客様も受講可能）
- ・セミナー時間は1時間（14:00～15:00）
- ・実施頻度は月2回程度

＜セミナー申込受付ページ＞

お申込み受付中のセミナー

— 水素社会に向けた燃料電池の専門家を探索-固体高分子形燃料電池

[📄 セミナーを申込む](#)

JDream Expert Finder 特別セミナー オンライン 参加無料

本セミナーでは「JDream SR」のサービス概要と基本的な使い方をオンラインでご紹介いたします。

— カーボンリサイクル-二酸化炭素の分離回収・資源化の専門家を探す

[📄 セミナーを申込む](#)

JDream Expert Finder 特別セミナー オンライン 参加無料

本セミナーでは、二酸化炭素排出問題について、技術開発に取り組んでいる専門家を探索するために、JDream Expert Finderを使った事例を紹介いたします。

— デジタルツイン-ものづくりの未来を担う研究者探索

[📄 セミナーを申込む](#)

JDream Expert Finder 特別セミナー オンライン 参加無料

本セミナーではデジタルツインを取り上げ、サイバーフィジカルシステム研究者の探索を事例で紹介いたします。

お気軽にご参加ください！

AIを活用した医薬文献検索ツール 「JDream SR」のご紹介

グローバルな医薬文献情報の文献調査をAIがサポート

独自技術による
分野特化型
システム

富士通独自技術による
高度な専門分野の
情報解析を実現

論文調査者の
負担を軽減

医療分野における論文
調査作業を効率化する
AI支援機能

数千万件の
医薬学術情報
ビッグデータ

国内外の医薬文献・海外
治験情報データベースを
収録

信頼性の高い医薬文献情報をグローバルに収録

情報カテゴリ	データベース (ファイル)	収録年代	収録情報
海外医薬文献	MEDLINE (PubMed)	2000年以降	米国国立医学図書館(NLM : National Library of Medicine)が作成・提供する医学およびその関連領域を対象とする文献情報。
	PubMed Central ※ 1	2000年以降	国立医学図書館(NLM)の部署である国立生物工学情報センター(NCBI)が運営する、生物医学・生命科学のオンライン論文アーカイブ。論文の本文まで閲覧可能。
国内医薬文献	JMEDPlus (JDreamⅢ) ※ 2	2000年以降	JDreamⅢに収録されている医学薬学関連の文献データベース。日本国内発行の資料から医学、薬学、歯科学、看護学、生物科学、獣医学等に関する文献情報を収録。
海外治験情報	ClinicalTrials.gov	2000年以降	国立衛生研究所の米国国立医学図書館によって運営されている臨床試験のレジストリ。209か国からの329,000件を超える試験からの登録。

※1 海外医薬文献は、MEDLINEに加え、PubMed Central (PMC) の内、「CC BY」(クリエイティブコモンズライセンス、帰属情報を表示し、商用利用・改変・再利用可能なもの)とされているもの

※2 国内医薬文献は、JDreamⅢからJMEDPlusを収録

情報解析結果の表示支援機能により、内容の把握が容易に

Short-Term Outcomes of Patients With COVID-19 Undergoing Invasive Mechanical Ventilation: Retrospective Observational Study From Wuhan, China

Shuai Zhao¹, Yun Lin¹, Cheng Zhou², Li Wang¹, Xueyin Chen¹, Sean P Clifford³, Ozan Akca³, Jiapeng Huang³, Xiangdong Chen¹

Affiliations + expand
PMID: 33117833 PMCID: PMC7553072 DOI: 10.3389/fmed.2020.571542
Free PMC article

Abstract

Background: COVID-19 has spread rapidly worldwide. Many patients require mechanical ventilation. The goal of this study was to investigate the clinical course and outcomes of patients with COVID-19 undergoing mechanical ventilation and identify factors associated with death. **Methods:** Eighty-three consecutive critically ill patients with confirmed COVID-19 undergoing invasive mechanical ventilation were included in this retrospective, single-center, observational study from January 31 to March 15, 2020. Demographic, clinical, laboratory, radiological, and mechanical ventilation data were collected and analyzed. The primary outcome was 28-day mortality after endotracheal intubation. The secondary outcomes included the incidences of SARS-CoV-2-related cardiac, liver, and kidney injury. **Results:** Seventy-four out of 83 (89.2%) patients achieved oxygen saturation above 93% after intubation. Forty-nine out of 83 (59%) patients died and 34 (41%) patients survived after 28 days of observation. Multivariable regression showed increasing odds of death associated with cardiac injury (odds ratio 15.60, 95% CI 4.20–74.43), liver injury (5.40, 1.46–23.56), and kidney injury (8.39, 1.63–43.41), and decreasing odds of death associated with the higher PaO₂/FiO₂ ratio before intubation (0.97, 0.95–0.99). PaO₂/FiO₂ ratio before intubation demonstrated a positive linear correlation with platelet count ($r = 0.424$, $P = 0.001$), and negative linear correlation with troponin I ($r = -0.395$, $P = 0.008$). **Conclusions:** Cardiac, liver, and kidney injury may be associated with death for critically ill patients with COVID-19 undergoing invasive mechanical ventilation. The severity of pre-intubation hypoxia may be associated with a poorer outcome of patients with COVID-19 undergoing invasive mechanical ventilation. Larger, multi-institutional, prospective studies should be conducted to confirm these preliminary results.

Keywords: COVID-19; SARS-CoV-2; critically ill patients; invasive mechanical ventilation; outcomes.

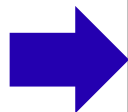
Copyright © 2020 Zhao, Lin, Zhou, Wang, Chen, Clifford, Akca, Huang and Chen.

Figures

Figure 1 The survival curve of critically ill patients.

Figure 2 Dynamic changes of laboratory parameters.

Figure 3 Correlation analysis of PaO₂.



1 Short-Term Outcomes of Patients With COVID-19 Undergoing Invasive Mechanical Ventilation: Retrospective Observational Study From Wuhan, China.

Zhao S Lin Y Zhou C Wang L Chen X Clifford SP Akca O Huang J Chen X

Front Med (Lausanne) 2020 7: 571542

PMID[33117833] PMCID[7553072]

抄録

Background: COVID-19 has spread rapidly worldwide. Many patients require mechanical ventilation. The goal of this study was to investigate the clinical course and outcomes of patients with COVID-19 undergoing mechanical ventilation and identify factors associated with death. Methods: Eighty-three consecutive critically ill patients with confirmed COVID-19 undergoing invasive mechanical ventilation were included in this retrospective, single-center, target observational study from January 31 to March 15, 2020. Demographic, clinical, laboratory, radiological, and mechanical ventilation data were collected and analyzed. The primary outcome was 28-day mortality after endotracheal intubation. The secondary outcomes included the incidences of SARS-CoV-2-related cardiac, liver, and kidney injury. Results: Seventy-four out of 83 (89.2%) patients achieved oxygen saturation above 93% after intubation. Forty-nine out of 83 (59%) patients died and 34 (41%) patients survived after 28 days of observation. Multivariable regression showed increasing odds of death associated with cardiac injury (odds ratio 15.60, 95% CI 4.20–74.43), liver injury (5.40, 1.46–23.56), and kidney injury (8.39, 1.63–43.41), and decreasing odds of death associated with the higher PaO₂/FiO₂ ratio before intubation (0.97, 0.95–0.99). PaO₂/FiO₂ ratio before intubation demonstrated a positive linear correlation with platelet count ($r = 0.424$, $P = 0.001$), and negative linear correlation with troponin I ($r = -0.395$, $P = 0.008$). Conclusions: Cardiac, liver, and kidney injury may be associated with death for critically ill patients with COVID-19 undergoing invasive mechanical ventilation. The severity of pre-intubation hypoxia may be associated with a poorer outcome of patients with COVID-19 undergoing invasive mechanical ventilation. Larger, multi-institutional, prospective studies should be conducted to confirm these preliminary results.

固有表現

severe acute respiratory syndrome clinical course endotracheal intubation mechanical ventilation 28-day cardiac, liver, and kidney injury death died incidences of mortality outcome outcomes oxygen saturation pao2/fio2 ratio survived

キーワードの関係を表矢印で紐づけ

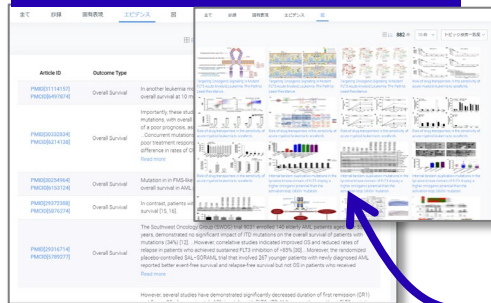
Figure 1 The survival curve of critically ill patients.

Figure 2 Dynamic changes of laboratory parameters.

Figure 3 Correlation analysis of PaO₂.

国内外の膨大な学術情報からAIが重要な知見を創出

抄録・画像等の一覧



トピック
検索したいテーマを下記プルダウンから選択

データベース
海外医薬文献、国内医薬文献、海外治験情報より選択

全て

クイックサーチ **関係性検索**

各論文検索サイト(PubMed, JDreamⅢなどの検索エンジン)を利用した検索が可能です。スペース区切りで複数ワードのAND検索も可能です。

検索キーワードを入力

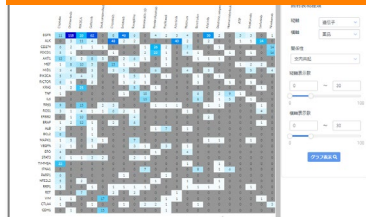
検索 🔍

ダッシュボード検索 🔍

詳細検索 🔍

ダッシュボード機能

関係性集計機能



文献検索結果画面

全て 抄録 固有表現 エビデンス 図

4791件 10件 / トピック検索一画面 結果表示

1. GZ0624 as a FLT3, FGFR1 and PDGFRα Inhibitor Against Leukemia In Vitro and In Vivo

Shang Z, Zhang L, Feng Y, Luo Y, Li Z, Zhang K, Ren X, Xu J, Chen S, Li Y, Zhang Z, Ding K

Target Oncol. 2020 Apr 14:1-10766

PMID:32472028 | PMC61712038

抄録 本文表示

GZ0624 is a novel third-generation IBC-ABL inhibitor. It entered Phase I clinical trials in China and Phase II clinical trials in USA in 2019 for treatment of patients with relapsed chronic myeloid leukemia (CML). We found that at concentrations below 10 nM, GZ0624 significantly suppresses FLT3, FGFR1 and PDGFRα kinase activities and inhibits their signal pathways in K562, K562b, K562c, K562d, K562e, K562f, K562g, K562h, K562i, K562j, K562k, K562l, K562m, K562n, K562o, K562p, K562q, K562r, K562s, K562t, K562u, K562v, K562w, K562x, K562y, K562z, K562aa, K562ab, K562ac, K562ad, K562ae, K562af, K562ag, K562ah, K562ai, K562aj, K562ak, K562al, K562am, K562an, K562ao, K562ap, K562aq, K562ar, K562as, K562at, K562au, K562av, K562aw, K562ax, K562ay, K562az, K562ba, K562bb, K562bc, K562bd, K562be, K562bf, K562bg, K562bh, K562bi, K562bj, K562bk, K562bl, K562bm, K562bn, K562bo, K562bp, K562bq, K562br, K562bs, K562bt, K562bu, K562bv, K562bw, K562bx, K562by, K562bz, K562ca, K562cb, K562cc, K562cd, K562ce, K562cf, K562cg, K562ch, K562ci, K562cj, K562ck, K562cl, K562cm, K562cn, K562co, K562cp, K562cq, K562cr, K562cs, K562ct, K562cu, K562cv, K562cw, K562cx, K562cy, K562cz, K562da, K562db, K562dc, K562dd, K562de, K562df, K562dg, K562dh, K562di, K562dj, K562dk, K562dl, K562dm, K562dn, K562do, K562dp, K562dq, K562dr, K562ds, K562dt, K562du, K562dv, K562dw, K562dx, K562dy, K562dz, K562ea, K562eb, K562ec, K562ed, K562ee, K562ef, K562eg, K562eh, K562ei, K562ej, K562ek, K562el, K562em, K562en, K562eo, K562ep, K562eq, K562er, K562es, K562et, K562eu, K562ev, K562ew, K562ex, K562ey, K562ez, K562fa, K562fb, K562fc, K562fd, K562fe, K562ff, K562fg, K562fh, K562fi, K562fj, K562fk, K562fl, K562fm, K562fn, K562fo, K562fp, K562fq, K562fr, K562fs, K562ft, K562fu, K562fv, K562fw, K562fx, K562fy, K562fz, K562ga, K562gb, K562gc, K562gd, K562ge, K562gf, K562gg, K562gh, K562gi, K562gj, K562gk, K562gl, K562gm, K562gn, K562go, K562gp, K562gq, K562gr, K562gs, K562gt, K562gu, K562gv, K562gw, K562gx, K562gy, K562gz, K562ha, K562hb, K562hc, K562hd, K562he, K562hf, K562hg, K562hi, K562hj, K562hk, K562hl, K562hm, K562hn, K562ho, K562hp, K562hq, K562hr, K562hs, K562ht, K562hu, K562hv, K562hw, K562hx, K562hy, K562hz, K562ia, K562ib, K562ic, K562id, K562ie, K562if, K562ig, K562ih, K562ii, K562ij, K562ik, K562il, K562im, K562in, K562io, K562ip, K562iq, K562ir, K562is, K562it, K562iu, K562iv, K562iw, K562ix, K562iy, K562iz, K562ja, K562jb, K562jc, K562jd, K562je, K562jf, K562jg, K562jh, K562ji, K562jj, K562jk, K562jl, K562jm, K562jn, K562jo, K562jp, K562jq, K562jr, K562js, K562jt, K562ju, K562jv, K562jw, K562jx, K562jy, K562jz, K562ka, K562kb, K562kc, K562kd, K562ke, K562kf, K562kg, K562kh, K562ki, K562kj, K562kk, K562kl, K562km, K562kn, K562ko, K562kp, K562kq, K562kr, K562ks, K562kt, K562ku, K562kv, K562kw, K562kx, K562ky, K562kz, K562la, K562lb, K562lc, K562ld, K562le, K562lf, K562lg, K562lh, K562li, K562lj, K562lk, K562ll, K562lm, K562ln, K562lo, K562lp, K562lq, K562lr, K562ls, K562lt, K562lu, K562lv, K562lw, K562lx, K562ly, K562lz, K562ma, K562mb, K562mc, K562md, K562me, K562mf, K562mg, K562mh, K562mi, K562mj, K562mk, K562ml, K562mm, K562mn, K562mo, K562mp, K562mq, K562mr, K562ms, K562mt, K562mu, K562mv, K562mw, K562mx, K562my, K562mz, K562na, K562nb, K562nc, K562nd, K562ne, K562nf, K562ng, K562nh, K562ni, K562nj, K562nk, K562nl, K562nm, K562nn, K562no, K562np, K562nq, K562nr, K562ns, K562nt, K562nu, K562nv, K562nw, K562nx, K562ny, K562nz, K562oa, K562ob, K562oc, K562od, K562oe, K562of, K562og, K562oh, K562oi, K562oj, K562ok, K562ol, K562om, K562on, K562oo, K562op, K562oq, K562or, K562os, K562ot, K562ou, K562ov, K562ow, K562ox, K562oy, K562oz, K562pa, K562pb, K562pc, K562pd, K562pe, K562pf, K562pg, K562ph, K562pi, K562pj, K562pk, K562pl, K562pm, K562pn, K562po, K562pp, K562pq, K562pr, K562ps, K562pt, K562pu, K562pv, K562pw, K562px, K562py, K562pz, K562qa, K562qb, K562qc, K562qd, K562qe, K562qf, K562qg, K562qh, K562qi, K562qj, K562qk, K562ql, K562qm, K562qn, K562qo, K562qp, K562qq, K562qr, K562qs, K562qt, K562qu, K562qv, K562qw, K562qx, K562qy, K562qz, K562ra, K562rb, K562rc, K562rd, K562re, K562rf, K562rg, K562rh, K562ri, K562rj, K562rk, K562rl, K562rm, K562rn, K562ro, K562rp, K562rq, K562rr, K562rs, K562rt, K562ru, K562rv, K562rw, K562rx, K562ry, K562rz, K562sa, K562sb, K562sc, K562sd, K562se, K562sf, K562sg, K562sh, K562si, K562sj, K562sk, K562sl, K562sm, K562sn, K562so, K562sp, K562sq, K562sr, K562ss, K562st, K562su, K562sv, K562sw, K562sx, K562sy, K562sz, K562ta, K562tb, K562tc, K562td, K562te, K562tf, K562tg, K562th, K562ti, K562tj, K562tk, K562tl, K562tm, K562tn, K562to, K562tp, K562tq, K562tr, K562ts, K562tt, K562tu, K562tv, K562tw, K562tx, K562ty, K562tz, K562ua, K562ub, K562uc, K562ud, K562ue, K562uf, K562ug, K562uh, K562ui, K562uj, K562uk, K562ul, K562um, K562un, K562uo, K562up, K562uq, K562ur, K562us, K562ut, K562uu, K562uv, K562uw, K562ux, K562uy, K562uz, K562va, K562vb, K562vc, K562vd, K562ve, K562vf, K562vg, K562vh, K562vi, K562vj, K562vk, K562vl, K562vm, K562vn, K562vo, K562vp, K562vq, K562vr, K562vs, K562vt, K562vu, K562vv, K562vw, K562vx, K562vy, K562vz, K562wa, K562wb, K562wc, K562wd, K562we, K562wf, K562wg, K562wh, K562wi, K562wj, K562wk, K562wl, K562wm, K562wn, K562wo, K562wp, K562wq, K562wr, K562ws, K562wt, K562wu, K562wv, K562ww, K562wx, K562wy, K562wz, K562xa, K562xb, K562xc, K562xd, K562xe, K562xf, K562xg, K562xh, K562xi, K562xj, K562xk, K562xl, K562xm, K562xn, K562xo, K562xp, K562xq, K562xr, K562xs, K562xt, K562xu, K562xv, K562xw, K562xx, K562xy, K562xz, K562ya, K562yb, K562yc, K562yd, K562ye, K562yf, K562yg, K562yh, K562yi, K562yj, K562yk, K562yl, K562ym, K562yn, K562yo, K562yp, K562yq, K562yr, K562ys, K562yt, K562yu, K562yv, K562yw, K562yx, K562yy, K562yz, K562za, K562zb, K562zc, K562zd, K562ze, K562zf, K562zg, K562zh, K562zi, K562zj, K562zk, K562zl, K562zm, K562zn, K562zo, K562zp, K562zq, K562zr, K562zs, K562zt, K562zu, K562zv, K562zw, K562zx, K562zy, K562zz

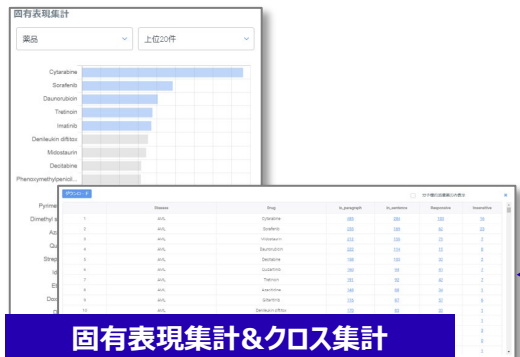
色別ハイライト&矢印ナビゲーション

preclinical studies to reduce the production of R-2-HG, resulting phase I and II trials, the IDH2 inhibitor enasidenib has (R/R) AML. This review will describe the preclinical and clinical administration approval in R/R AML treatment recommendation

Target

Responsive

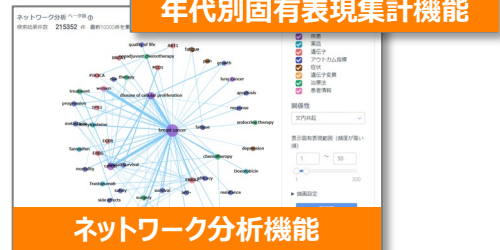
固有表現集計&クロス集計



年代別固有表現集計機能

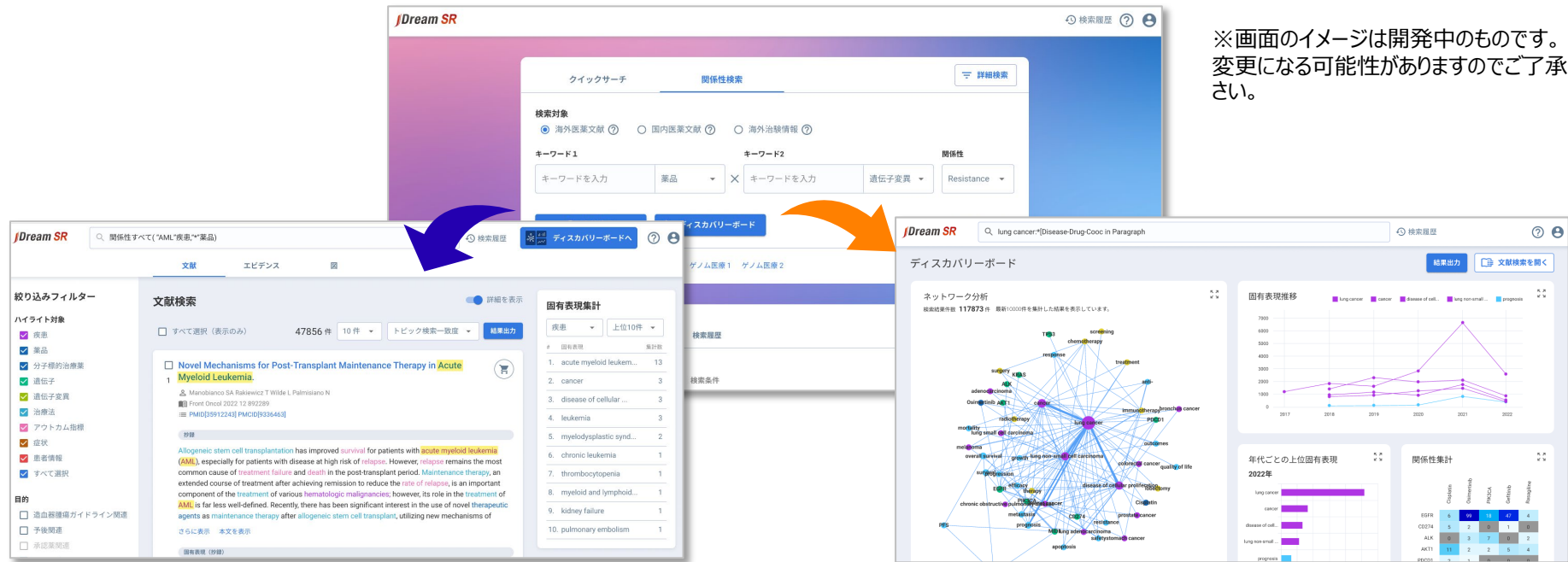


ネットワーク分析機能



今後のアップデート予定

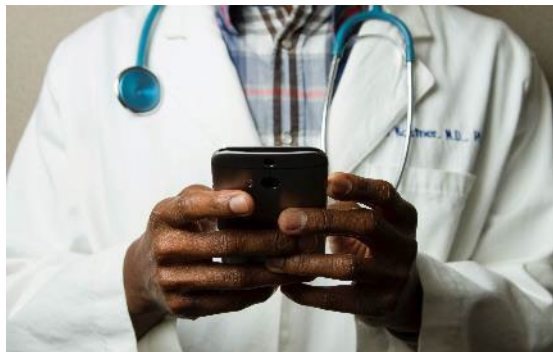
画面の大幅アップデートを予定（今冬）



2023年以降：情報源の拡張、アノテーションデータの販売、APIシステム連携

医薬・ライフサイエンス分野の研究開発の促進をAIがサポート

臨床・医療従事者



- ・がんゲノム医療・遺伝子診療の文献キュレーション
- ・適応外医薬品のエビデンス・治験情報
- ・疾患・症状など特定項目の関連性調査
- 等

製薬・研究開発



- ・ドラッグリポジショニング
- ・既存薬の適応症拡大の可能性
- ・新薬開発に向けたシーズ探索
- ・医療技術評価(HTA/HEOR)のエビデンス調査
- 等

食品/化学分野への応用



- ・食品分野への応用（機能性表示食品、組み換え遺伝子の影響等）
- ・化学分野への応用（化合物への人体への影響等）
- 等

JDream SRをご自身でぜひお試しください

無料トライアルお申し込み

- URL :
https://jdream3.com/lp/jdream_sr/



今後の開催セミナー

- 11/24(木) 14:00～
AIを活用した新しい医薬情報検索
- 11/30(水) 14:00～
論文データの利活用による創薬戦略

↓↓お申し込みはこちらから↓↓



11/24
AIを活用した新しい医薬情報検索



11/30
論文データの利活用による創薬戦略

AIを活用した3つのJDream関連サービス



技術を軸とした素早い意思決定に
論文 × 特許 × 新聞記事
自動で分析・可視化

新技術の開発や、新たな市場の開拓など、部門を超えたイノベーション創出



約150万人から
最適な研究パートナー
を検索！

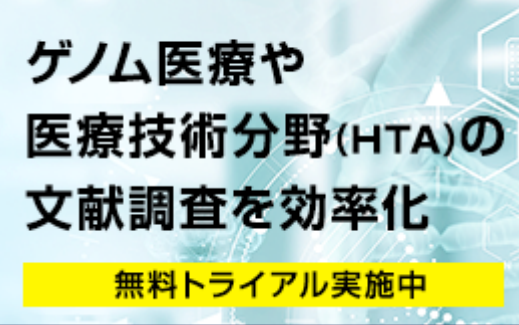


産学官連携の相手探しや
キー・オピニオン・リーダー
(KOL) の探索



ゲノム医療や
医療技術分野(HTA)の
文献調査を効率化

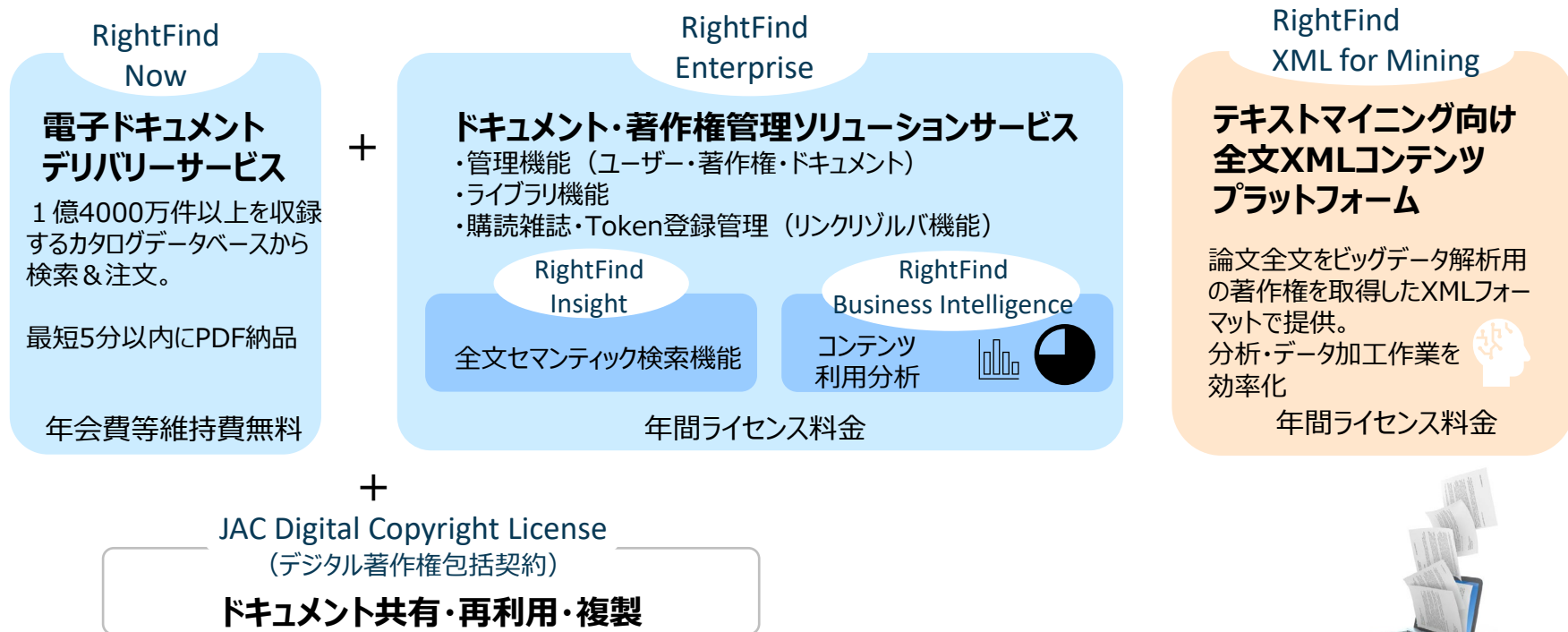
無料トライアル実施中



医薬・ライフサイエンス分野
の研究開発における新たな気
づきを支援

ジー・サーチからのお知らせ

最適なデジタルコンテンツプラットフォームで、DX・イノベーション活動をサポート





- 米国著作権管理団体Copyright Clearance Center（CCC）が提供するコンテンツ提供サービス
- CCCが提供する**デジタル著作権包括契約（JAC DCL）**と組み合わせて利用する事で、デジタル文献の蓄積・共有を実現し、コンテンツに関わる作業効率を向上
- 利用目的に応じたデータ形式で、必要なデジタルコンテンツ（購読雑誌・保有文献・新規購入）のベストミックスによる取得・管理費用を最適化

**RightFindは著作権包括契約の権利情報を正確に確認するための
唯一の著作権確認情報ソース**

電子ドキュメントデリバリーサービス&文献・著作権統合管理ソリューション



- 契約ジャーナル、社内所蔵文献、オープンアクセス、PayPerViewから適切な文献を自動判別し、**最も安価な情報ソースから自動取得**
- JAC著作権包括契約（JAC-DCL）との組み合わせにより、**正しい著作権処理と共に文献の社内共有・保存を実現**
- パーソナル&シェアライブラリでコメント・タグを付加した文献管理と共有

デジタルコンテンツの戦略的かつ安全な利活用を実現

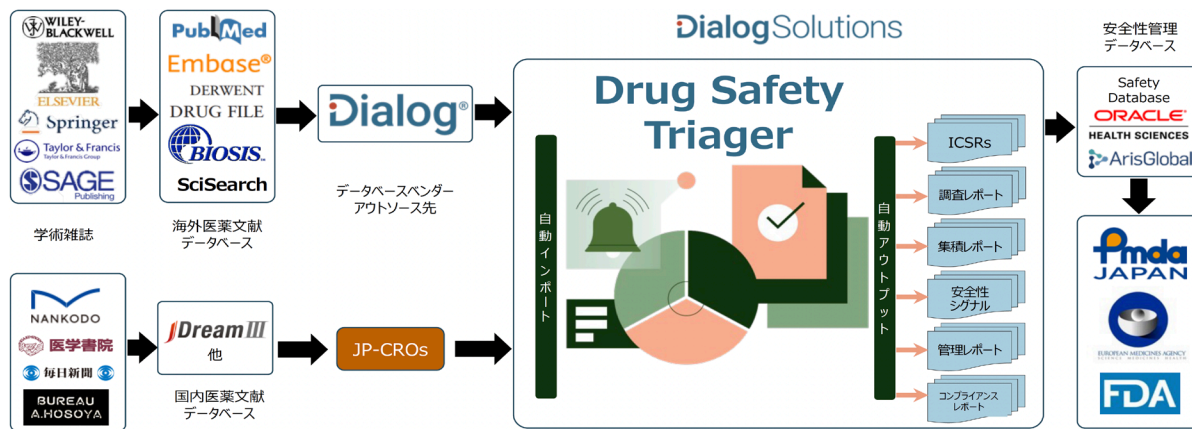
医薬品の安全性文献監視のための Drug Safety Triager FUJITSU

概要

医薬品の安全性に関する文献情報収集の負担は増加する一方で、**当局による規制及び監査体制**がより厳格になっており、レビュー作業の量は年間10～20%の割合で増加しているとされています。

重複文献の最小化

DialogアラートとDrug Safety Triagerの二重の**チェック機能**により、重複文献に対するレビュー作業の手間を省き、必要な文献だけを確実に入手することができます。



文献レビューワークフローの自動化

Dialogアラートの配信結果は、Drug Safety Triager に自動的にインポートされ、検索式や受信先、配信頻度など変更は全て**監査履歴として記録**されます。

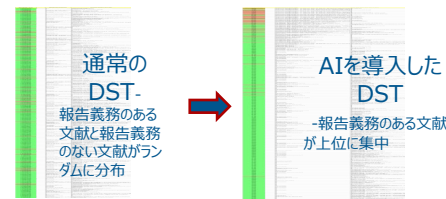
Drug Safety Triager (DST) の特徴

個別症例報告 (ICSR)や定期レポート等の安全性報告のための文献レビュープロセスを効率化するバリデーション対応サービスです。ファーマコビジランスに必要な信頼性を確保し、業務にかかるコストと時間を大幅に節約できます。



AI (機械学習) の実装

AIの機械学習により重要度が高いと判断された文献が最初に評価できるように並べ替えられた文献リストを示しています。



Thank you

